

取扱説明書



コーヒーマシン

9000S+

日本語

00.00.000

弊社のWMFコーヒーマシンをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

WMF 9000 S+はエスプレッソ、カフェクレム、カプチーノ、カフェテ、ラテマキアート、ミルクフォーム、アイスミルク飲料、熱湯を供給する全自動コーヒーマシンです。

オプションのパウダーホッパーを使用すると、WMF 9000 S+ではミルクもしくはミルクフォーム入りのホットチョコレートを作ることができます。



取扱説明書の指示に従ってください



- > 使用前に取扱説明書をお読みください。
- > 取扱説明書、特に安全上の注意事項と「安全性」の章の指示を遵守してください。
- > コーヒーマシンの警告注記に注意してください。
- > 取扱説明書はスタッフや全ユーザーがいつでも参照できるようにしてください。

注意

取扱説明書のアイコンとマークに従ってください
▷16ページ以降
安全性についての章を参照
▷6ページ以降



感電死の危険あり



- コーヒーマシン内部は生命の危険にかかわるほど高い電圧が流れています。
- > マシン外装は絶対に開けないでください。
- > 絶対にねじを緩めたり、外装部分を外したりしないでください。

警告

安全性についての章を参照
▷6ページ以降



設置・使用条件

- メンテナンス規定や「テクニカルデータ」の章にある規定の遵守を怠った場合、損害が発生しても一切責任を負いかねます。
- > 取扱説明書の指示に従ってください。
- > メンテナンスと修理作業は、必ずWMFサービスが純正スペアパーツを使用して行う必要があります。

重要

テクニカルデータ
▷89ページ以降
メンテナンス
▷79ページ以降

1	安全性	6
1.1	一般的な安全上の注意事項	6
1.2	使用目的	12
1.3	設置・使用条件	13
2	序章	14
2.1	コーヒーマシンの各部名称	14
	供給可能表示	14
	用語集	17
3	操作	18
3.1	操作に関する安全上の注意事項	18
3.2	コーヒーマシンのスイッチを入れる	19
3.3	飲料供給	19
	飲料取消	19
3.4	事前選択パッド (オフ ション)	20
3.5	特別ボタン (オフ ション)	20
3.6	自由なカップ 容量の選択	20
3.7	熱湯供給	21
3.8	ミルク/ミルクフォームの供給	21
3.8.1	WMFクーラー, WMFカップ・アンド・ケール (オフ ション)	21
3.9	高さ調整可能カップ 台	22
	自動カップ 台	22
3.10	コーヒ-豆ホッパー/パウダーホッパー	22
3.11	マニュアル投入	23
3.12	コーヒ-カヌ受け	24
3.13	コーヒ-カヌ落とし (オフ ション)	24
3.14	コーヒーマシンのスイッチを切る	25
4	ソフトウェア	26
4.1	概要	26
	供給可能	26
	供給可能機能ラインパネル	26
	メインメニューの機能	27
	メニュー制御パッド	27
	パネル上の通知	27
4.2	供給可能表示	28
4.2.1	飲料ボタン	28
4.2.2	機能ライン	28
	スチームジェットパッド	28
	ホットリンスパッド	28
	カップ サイズ 調整	28
	S-M-Lパッド	29
	パリスボタン - コーヒ-の濃さ	29
	ミルクシステム補充	29
	マニュアル投入パッド	29
	熱湯ボタン	29
	スチームジェットカップ ウォーマー	30
4.3	カスタマーケア	31
	システムクリーニング	31
	ミキサーリンス	31
	ミルクシステムクリーニング	31
	ミルクシステムを解除する	32
	フォーム-のリンス	32
	クリーンロック	32
	説明	32
	ミルクシステム補充	32
	ドリッパートレーのクリーニング	32

目次

4.4 飲料	33
概要	33
カップ容量、複数抽出と供給オプション	34
レシクの変更	36
テキスト、画像、カップ高さ	39
ポットの入れ替え	40
4.5 操作オプション	41
操作要素	41
ミルクシステム補充	44
ポットリフト	44
ホストレクジョン	44
S-M-L機能	45
カフェインフリー	45
飲料プレ選択	46
飲料取消	46
熱湯温度プレ選択	46
ミルクフォームの選択	47
ロゴ	47
4.6 インフォメーション	48
前回の抽出	48
タイマー	48
サービス	48
ガスターゲア	48
浄水フィルタとカルキ除去	48
ジャーナル	48
4.7 会計	49
カウンター	49
自動販売機	49
外部会計	49
無料設定	50
4.8 PIN権限	50
クリーニングPIN	51
設定PIN	51
会計PIN	51
新しいPINを入力	51
4.9 タイマー	52
タイマー予定表とタイマーの設定	52
本日の詳細	52
タイマーの入る時間を設定	52
タイマーの状態	53
ポットリフトの概要	53
ポットリフトの状態	53
エコモードの概要	54
エコモード状態	54
時刻/日付	54
4.10 システム	55
キー	55
ブロードディスプレイ	55
ディスプレイと照明	56
ディスプレイの照度	56
ディスプレイ照度は自動的に減少	57
タッチキャリブレーション	57
パネルの背景	57
飲料:大文字	57
浄水フィルタ	58
エコモード	59
スイッチオフリス	59
グライダ 挽き粗さ設定	59
抽出圧表示	59
栄養成分情報	60

4.11	言語	60
4.12	ソフト	60
	ソフト表示	60
4.13	USB	61
	レシポをロードする	61
	飲料のマークをロードする	61
	レシポを保存する	61
	レシポをPDFファイルとして保存する	62
	カウンターのインストール	62
	HACCPインストール	62
	データのバックアップ	62
	データをロードする	62
	言語をロードする	62
	ファームウェアの更新	62
5	カスタマーケア	63
5.1	カスタマーケアについての安全上の注意事項	63
5.2	クリーニング頻度の概要	65
5.3	クリーニングプログラム	66
5.3.1	システムクリーニング	66
5.3.2	ミルクシステムクリーニング	67
5.3.3	ミキサーリンス	68
5.3.4	フォーマーのリンス	68
5.4	クリーニング（手作業）	69
5.4.1	操作パネルクリーニング（クリーンロック）	69
5.4.2	コーヒー受けのクリーニング（挽いた豆のスライド/オポジション）	69
5.4.3	ドリフトトレのクリーニング	70
5.4.4	外装のクリーニング	70
5.4.5	収集のクリーニング	71
5.4.6	コフィ供給口を手作業でクリーニング	71
5.4.7	スチームノズルのクリーニング	72
5.4.8	ミキサーのクリーニング	74
5.4.9	コーヒー豆ホッパーのクリーニング	75
5.4.10	パウダーホッパーのクリーニング	76
6	HACCPクリーニングコンセプト	77
7	メンテナンスと加粉除去	79
7.1	メンテナンス	79
7.2	WMFサービス	79
8	メッセージと注意事項	80
8.1	操作上の通知	80
8.2	エラー通知と不具合	81
8.3	エラー通知なしの不具合	82
9	安全性と保証	83
9.1	コーヒーマシンに対する危険	83
9.2	ガイドライン	85
9.3	管理責任者の義務	86
9.4	保証請求	87
	付録:テクニカルデータ	89
	コーヒーマシンのテクニカルデータ	89
	付録:アクセサリとスプレッドシート	92
	索引	94

1 安全性



誤った使用法

- 安全上の注意事項に従わないと、大怪我をすることがあります。
 - > すべての安全上の注意事項に必ず従ってください。
-

 **警告**

1.1 一般的な安全上の注意事項

1-ガ -に対する危険性

WMFの製品は、安全性に最大限配慮していることが大きな特徴です。以下に記載されている項目が守られていない場合は安全装置の効果が保証されません:



> 使用前に取扱説明書をよくお読みください。



> 高温になったマシン部分には触れないでください。



- > コーヒーマシンが正しく機能しないか損傷している場合は絶対に使用しないでください。
 - > 完全に組み立てられている状態でのみ、コーヒーマシンを使用してください。
-

 **注意**



> 内蔵されている安全装置はどのような状況においても、絶対に変更しないでください。



- > マシンを8歳未満のお子様や身体が不自由な方、知的能力の弱い方、経験や知識不足の方が使用する場合は、必ず十分な使用経験と知識をお持ちの方がそばに付き添い、正しい知識や指示でマシンを安全に使用し、発生するリスクを理解した状態でお使いください。
- > お子様にマシンで遊ばせないでください。
- > クリーニング やユーザ -メンテナンスをお子様にさせないでください。

 **注意**

安全装置が搭載されていても、コーヒーマシンの使用を誤ると危険です。怪我や健康被害のおそれを避けるために、コーヒーマシンを使用する際には以下の注意事項に従ってください。



感電死の危険あり



- コーヒーマシン内部には生命の危険にかかわるほど高い電圧が流れています。
 - > マシン外装は絶対に開けないでください。
 - > 絶対にねじを緩めたり、外装部分を外したりしないでください。
 - > 破損した電源ケーブルは絶対に使用しないでください。
 - > 電源ケーブルが損傷しないようにしてください。曲げたり、押しつぶしたりしないでください。

 **警告**



火傷の危険/火傷のおそれあり



- 飲料とスチームの供給中は、高温の液体が供給口から排出されます。



- このため、供給口や、隣接エリアの表面が高温になります。
- > 飲料やスチームの供給中は、供給口の下に触れないでください。
- > 供給直後は供給口に触れないでください。
- > 飲料供給する前に、必ず供給口下に適切な大きさの容器を置いてください。

 注意



怪我のおそれあり

- 長い髪の毛はグライндаに巻き込まれ、コーヒーマシンに引き込まれるおそれがあります。
- > コーヒー豆ホッパーを取り外す前に、ヘアネットを被り、髪の毛を保護してください。

 注意



指などが挟まれるおそれ/ 怪我のおそれあり



- コーヒーマシンの可動部で指や手を怪我するおそれがあります。
- 操作パネルを閉じるときは、手や指などが挟まれるおそれがあるので注意してください。
- > コーヒーグランドラインダ[®] や抽出装置の開口部に触れる場合、その前に必ずコーヒーマシンのスイッチを切り、主電源からプラグを外してください。
- > 操作パネルを閉じるときは注意しながら行ってください。

 注意



健康被害のおそれ

- > 飲食用であり、コーヒーマシンでの使用に適した製品だけを使用してください。
- > パウダ[®]-ホップ[®]、コーヒー豆ホップ[®]、マニュアル投入を使用する場合、用途に見合った材料のみを入れてください。

 注意



健康被害のおそれ

- ミルクシステム用洗剤やクリーニングタブレットは刺激物です。
 - > 洗剤のパッケージに記載されている注意事項に従ってください。
 - > キーリングタブレットはパネル上に通知が表示されてから使用してください。

 注意



健康被害のおそれ/ 刺激・火傷のおそれあり



- キーリング中に供給口から高温のクリーニング液と熱湯が出ます。
- 高温になった液体によって皮膚への刺激や、火傷のおそれがあります。
- ドリップトレイには高温の液体がたまっていることがあります。
 - > キーリング中は絶対に供給口の下に手などを入れないでください。
 - > 洗剤は絶対に飲まないでください。
 - > ドリップトレイは慎重に動かしてください。

 注意



滑る危険がある



- ・ コーヒーマシンの誤った使用、または不具合によって水漏れが発生する恐れがあります。これらの液体によって滑る危険があるため、注意してください。
- コーヒーマシンの密閉性が保たれているか、水漏れがないか、定期的にチェックしてください。

⚠ 注意

1.2 使用目的



誤った使用法

- ・ マシンを本来の目的以外で使用した場合、怪我のおそれがあります。
- コーヒーマシンは本来の使用目的のみで使用してください。

⚠ 警告

WMF 9000 S+はコーヒーおよび/またはミルクおよび/またはパウダー（チョコ／トッピング など）を組み合わせる適切な容器に飲料を供給するように設計されています。本機は業務用としてホテルやレストランなどで使用されることを前提に設計されています。本機の稼働中に責任者が現場にいる場合には、本機をセルフサービスの場所に設置できます。本機は店舗、カフェなどの職場、ホテル、モテル、および朝食付きホテルで使用でき、専門的知識を持たない人やお客様が操作することができます。

本機は必ずお手元の取扱説明書に従って使用してください。取扱説明書と異なったり、取扱説明書から逸脱していたりする使用は、不適切とみなされます。これにより損傷が発生しても、製造者は一切責任を負いかねます。

WMF 9000 S+はコーヒー、熱湯（飲料、クリーニング液）あるいはミルク（冷蔵、低温殺菌、牀牛乳、ロングライフミルク）を加熱・供給するためのものであり、それ以外の使用は絶対に避けてください。

1.3 設置・使用条件

火災のおそれ/事故のおそれあり

- > 設置・使用条件には必ず従ってください。
- > テクニカルデータの章で規定されている設置・使用条件は遵守しなければなりません。

警告

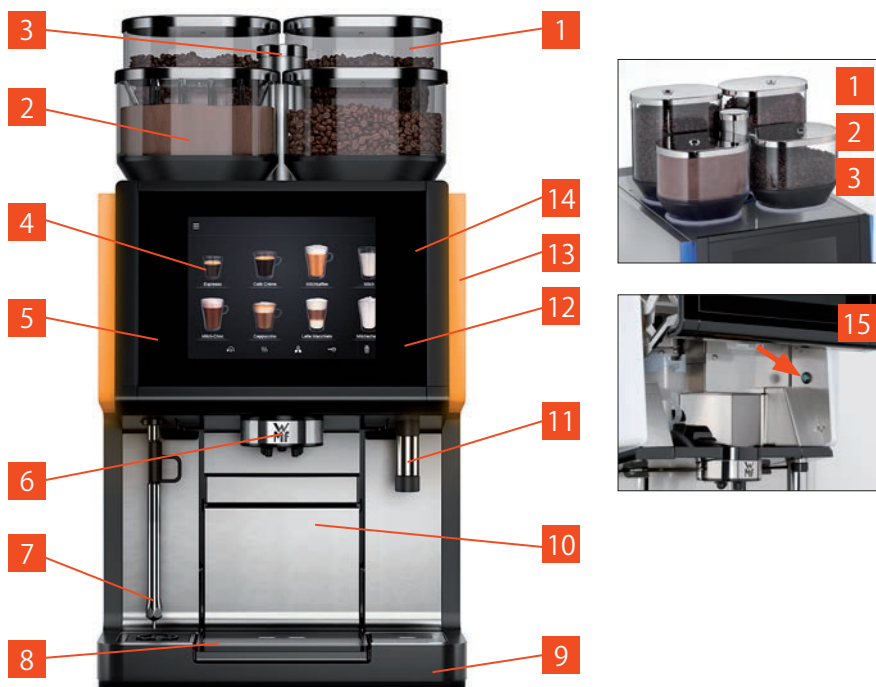
テクニカルデータ
▷ 89° -ジ 以降

電気接続、給水接続、排水接続等の、現場側での準備作業は、マシンの管理責任者が手配しなければなりません。これらの作業は使用国内および使用地域の一般規定に従い、認可を受けた据付業者が行うことが義務付けられています。

WMF サービスエンジニアが担当できるのは、用意された接続部にコーヒーマシンを接続する作業だけです。WMF サービスエンジニアによる現場での据付作業は認められていないため、エンジニアは据付の実施については責任を負いかねます。

2 序章

2.1 コーヒーマシンの各部名称



供給可能表示



ホットライン

機能ライン

- 1 コーヒー豆ホッパ - (最大 4 まで)
- 2 パウダーホッパ - (チョコやトッピングなど) (オプション)
- 3 マニュアル投入/洗浄剤投入口
- 4 飲料ボタンと設定用タッチパネル
- 5 スチームボタン (オートスチーム/イージースチーム、オプション)
- 6 ミルクフォーマー内蔵型コンテ 供給口
- 7 スチームノズル (オプション)
- 8 高さ調整可能カップ台
- 9 取り外し可能なドリップトレイ (ドリップケリット付き)
- 10 コーヒーカス受け
- 11 熱湯ノズル
- 12 特別ボタン (熱湯)
- 13 サイト照明
- 14 操作パネル
- 15 オン/オフボタン

供給可能表示

- 16 メニューパッド (メインメニューを開く)
- 17 エコモード
- 18 飲料ボタン
- 19 スチームジエットパッド
- 20 ホットリンスパッド

パネル上のパッドやボタンは設定やマシンモデルにより異なります。
ここに画像表示する機能は例です。
ソフトウェア > 26℃ - ジー 以降

取扱説明書の記号とマーク



安全上の注意事項 怪我のおそれあり

安全上の注意事項に従わないと操作ミスにつながり、軽度から重度の怪我を負うことがあります。



安全上の注意事項 怪我のおそれあり

安全上の注意事項に従わない場合、操作ミスにつながり、軽度の怪我を負うことがあります。



感電



高温のｽﾀｰﾑ



指などが挟まれるおそれ



高温の表面



滑る危険がある



物損についての注意事項

- ・ コーヒーマシンに対して
- ・ 設置場所に対して
- > 必ず取扱説明書の指示に従ってください。



注意事項/ヒント

- ・ 安全な取り扱いのための注意事項や、操作を容易にするためのヒントが記載されています。



警告

安全性についての章を参照
▷6ページ以降



注意

操作に関する安全上の注意事項
▷18ページ

カスタマーケアについての安全上の注意事項

▷63ページ

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

重要

保証の章に注意
▷87ページ以降

テクニカルデータ

▷89ページ以降

注意事項

ヒント

用語集

用語	解説
•	• 箇条書き、選択オプション
*	* 各作業ステップ
斜字テキスト	コーヒーマシンの状態の説明および/または自動ステップの解説
コンビ 供給口	標準仕様はダブル供給口オプションでシングル供給口もお求め可能。
セルフサービスモード	セルフサービス
チョコ	ホットチョコレート
テカフェ	テカフェのコーヒー
パウダ-飲料	チョコやトッピングなど
バリスタ	コーヒーのスペシャリスト
プレス	抽出前の、挽いたコーヒーの自動プレス。
ミキサーシステム	パウダ-飲料用ミキサーとホ-シヨナーの総称
ミルクシステム	コンビ 供給口、ミルクホース
メインコック	止水栓、アングル弁
リンス	中間的な洗浄
飲料供給	コーヒー、熱湯あるいはパウダ-飲料の供給
硬度	°dKHで表示水の硬度は、飲料水に含まれるカルシウムの量を表します。
湿らし行程	香りを強く出すために、実際に抽出を行う前にコーヒーに少量の熱湯が注がれます。
追加	コーヒー、ミルク、ミルクフォーム、チョコやトッピング等以外の、飲料用レシピの構成要素。
挽いた豆のスライド	▷コーヒーが落とし、24°-ジ
容量	例えば：浄水フィルタ処理能力(ℓ)

3 操作

3.1 操作に関する安全上の注意事項



火傷の危険/火傷のおそれあり



- 飲料とスチームの供給中は、高温の液体が供給口から排出されます。このため、供給口や、隣接エリアの表面が高温になります。
- クリーニング後などでカップ台・ドリフトレを正しくはめ込んでいない場合、高温の液体で火傷を負うおそれがあります。
 - > 飲料やスチームの供給中は、供給口の下に触れないでください。
 - > 供給直後は供給口に触れないでください。
 - > 飲料供給する前に、必ず供給口下に適切な大きさの容器を置いてください。
 - > カップ台・ドリフトレが正しく取り付けられているか、必ず確認してください。

⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6^ -ジ^以降



健康被害のおそれ

- 飲食用であり、コーヒーマシンでの使用に適した製品だけを使用してください。
- > コーヒー豆ホッパーとマニュアル投入を使用する場合、用途に見合った材料のみを入れてください。

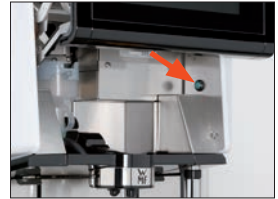
⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6^ -ジ^以降

3.2 コーヒーマシンのスイッチを入れる

- ※ 操作パネルを上にも動かす
- 操作パネル裏の右側に、オン/オフボタンがあります。
- ※ 信号音が鳴るまでオン/オフボタンを押します
- コーヒーマシンのスイッチが入り、加熱がスタートします。
- ホットリンスが自動的に始まります。
- コーヒーマシンで飲料供給の準備が完了すると、パネルに供給可能と表示されます。

コーヒーマシンはタイマーを使って電源オンにできます。



PINアクセス管理
 ▷PIN 権限
 50℃ -ジ
 タイマーの入る時間を設定
 ▷タイマー
 52℃ -ジ

3.3 飲料供給

飲料ボタンをタッチすると、設定した飲料の供給が開始されます。

- ボタン点灯 = 供給可能
 - ボタン消灯 = 供給不可/ボタンが無効
- ※ コーヒー供給口下のカップ台に適切なサイズのカップを配置します
 - ※ 希望の飲料ボタンにタッチします



ボタンレイアウト
 ▷操作オプション
 44℃ -ジ

飲料取消

- ※ タッチした飲料ボタンをもう一度タッチ

3.4 事前選択パッド (オプション)

マシンモデルによっては、マニュアル投入パッドや
カフェインフリーパッドなどの事前選択パッドをパッドで利用
できます。

これらのパッドは、飲料ボタンで飲料を決定する前に
希望する事前選択を行うための事前選択パッドで
す。



例
マニュアル投入パッド および
カフェインフリーパッド
▷28ページ

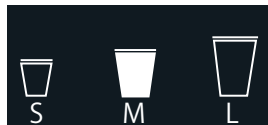
3.5 特別ボタン (オプション)

オプションで、飲料サイズ SとL用の特別ボタンをパッドで利用
できます。これらのボタンは、飲料を選択する前に
希望する飲料サイズを決定するための事前選択ボタン
です。

M = 設定した飲料サイズ、フル選択なし

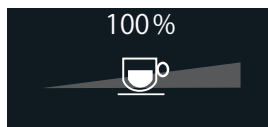
S = 約25% Mより少ない

L = 約25% Mより多い



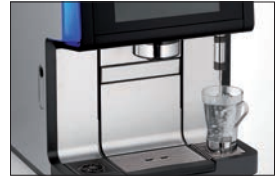
3.6 自由なカップ容量の選択

オプションとして自由なカップ容量の選択が可能です。
設定により、飲料選択後のカップ容量を選択後のモード
で調整できます。



3.7 熱湯供給

- ※ 熱湯の供給口の下に適切なサイズのカップを配置
 - ※ 熱湯のボタンをタッチする
- 設定した供給オプションに応じて供給が始まります。
供給オプション「供給」で容量選択が可能です。



ソフトウェアで「熱湯温度レベル選択」が有効になっている場合、熱湯ボタンをタッチしたら3つの供給温度が選択できます。

注意事項

熱湯温度レベル選択
▷ 操作オプション
46° -ジ

「熱湯温度レベル選択」有効時

- ※ 熱湯のボタンをタッチする
 - ※ 希望の水温ボタンにタッチする
- 供給が行われます。

3.8 ミルク/ミルクフォームの供給

- ※ コヒ供給口の下に適切なサイズのカップを配置
 - ※ ミルクまたはミルクフォームに割り当てられた飲料ボタンをタッチする
- 設定した供給オプションに応じて供給が始まります。

供給オプション
▷ カップ容量
34° -ジ

開始/停止または供給

3.8.1 WMFクーラー、WMFカップ・アット・クール (オプション)

- ※ ミルク容器をクーラーから外す
 - ※ ミルク容器のフタを後ろにずらす
 - ※ ミルクをミルク容器に注入
 - ※ フタを再び容器の上にセット
 - ※ ミルクホースのアダプターをミルク容器の蓋にある接続口に挿入
 - ※ ミルク容器を慎重に押し戻す
- ミルクホースをアダプター外に差し込みます。



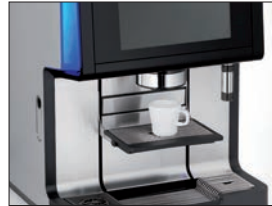
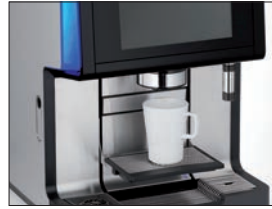
3.9 高さ調整可能カップ台

自動カップ台

自動カップ台では一緒に飲料のカップ高さが保存されます。飲料供給前にカップ台が自動で最適な高さに調整されます。

カップ高さ > 39° -ジ

195 mmまでの調整範囲



3.10 コーヒー豆ホッパー - パウダ - ホッパー

- ・ ホッパーは、できるかぎり適時に補充してください。
- ・ 製品の鮮度を維持するため、ホッパーには最大でも一日分しか入れないでください。



- ! 異物が混入するとコーヒーグラインダが破損するおそれがあります。このような損傷は保証対象外となります。
 - > 従って、コーヒー豆ホッパーに異物が混入しないように注意してください。

重要

保証の章に注意
> 87° -ジ 以降

3.11 マニュアル投入

マニュアル投入口はコーヒーマシンの蓋の中央に取り付けられています。

マニュアル投入の用途：

- カフェインフリー等、異なる種類のコーヒーを淹れるとき
- 試しにコーヒーを淹れるとき
- クリーニングタブレットの投入口



- 挽いたコーヒーやクリーニングタブレットは 6° 以上で通知されてから投入してください。
- マニュアル投入の場合は、挽いたコーヒーのみを使用してください。
- インスタントコーヒーパウダーは使用しないでください。
- 挽いたコーヒーが細かすぎる場合は、使用しないでください。

重要

保証の章に注意
▷ 87° - 9° 以降

マニュアル投入口から、挽いたコーヒーでコーヒーを淹れる (オプション)

- * プリ選択パッドの「マニュアル投入」をタッチする
- * 希望の飲料ボタンにタッチします
マニュアル投入口が自動で開きます。
- * 計量スプーン(小)を使用して、希望する分量のコーヒー粉を入れる (最大 16 g)
- * マニュアル投入を閉じる
選択した飲料が供給されます。



3.12 コーヒー受け

コーヒー受けには、使用済みの挽いたコーヒーが排出されます。

コーヒー受けには抽出約70回分のコーヒーが収まるようになっています。

コーヒー受けを空にする必要がある場合、パ° 祉上° にその旨の通知が表示されます。

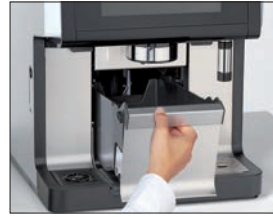
コーヒー受けが取り外されている間は、飲料供給は不可能となります。

* コーヒー受けを外す

* コーヒー受けを空にして再びセット

* プ° ロセスをパ° 祉上° で確定する

- ! > コーヒー受けを空にせずに設置すると、コーヒーがあふれ出ます。コーヒーマシンが汚れ、マシンの損傷につながるおそれがあります。
- > コーヒー受けを上手く設置できないときは、ダ° クトにコーヒーが残っていないかチェックし、残っている場合には取り除いてください。
- > コーヒー受けを設置するときは、常に空の状態° で設置してください。



コーヒー受けのクリーニング
▷ 手動クリーニング°
69° -ジ°

重要

保証の章° に注意
▷ 87° -ジ° 以降

3.13 コーヒー fallout (オ° ション)

コーヒーマシンにはコーヒー fallout を取り付けることができます。このタイプ° では、コーヒー受けとコーヒーマシンの底° に開口部° が設けてあり、現場のマシンカウンター° 台の開口部に続いています。コーヒーは、マシンカウンター° 台下にある個別容器° へと排出されます。

重要

挽いた豆のスライ° を毎日クリーニング°
▷ 手作業° でクリーニング°
69° -ジ°

3.14 コーヒーマシンのスイッチを切る



衛生面に注意

- ・ コーヒーマシンの中で有害な細菌が繁殖することがあります。
- > コーヒーマシンのスイッチを切る前に必ず毎日の「クリーニング」を行ってください。



取扱説明書を確認

- ・ 取扱説明書の指示に従わずにマシンを使用して発生した損傷については、保証は適用されません。

- * 操作パネルを上に動かす
操作パネル裏の右側に、ON/OFFボタンがあります。
- * 信号音が鳴るまでON/OFFボタンを短く押します
コーヒーマシンのスイッチが切れます。
- * 主電源からプラグを抜く
- * 水道のメインコックを閉める

注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

取扱説明書に従ってコーヒーマシンを
クリーニングしてください。

カスタマーケア
▷63ページ以降

重要

保証の章に注意
▷87ページ以降



PINアクセス管理
▷PIN 権限
50ページ以降

4 ソフトウェア



- 飲料設定の際には、コーヒーマシンの操作についてのものと同様の安全上の注意事項に従ってください。
- > 操作に関する安全上の注意事項すべてに従ってください。

⚠ 注意

操作に関する安全上の注意事項
▷18° -ジ°

4.1 概要

供給可能

28° -ジ°



ホタリアウト
▷操作ボタン
44° -ジ°

パネル上の「パッド」や「ボタン」は
設定やマシンモデルにより異なります。

供給可能機能ラインパッド

28° -ジ°



スチームジェットカップウォーマー



エコモード表示



飲料サイズ (S-M-L)



ホットリンス



マニュアル投入



バリスタ (コーヒーの濃さ)



2.コーヒー種類 (ティ/カフェ)



熱湯



ミルクシステム補充



カップサイズ調整

メインメニューの機能

31℃ -ジ° 以降



カスタマーケア
31℃ -ジ°



飲料
33℃ -ジ°



操作オプ°ション
41℃ -ジ°



インフォメ°ション
48℃ -ジ°



会計
49℃ -ジ°



PIN権限
50℃ -ジ°



タイマー
52℃ -ジ°



システム
55℃ -ジ°



言語
60℃ -ジ°



エコモード°
60℃ -ジ°



USB
61℃ -ジ°

メニュー制御パ°ット°



メインメニュー/戻る



値/設定の確定



PIN入力



値/設定の削除



次へ/開始



飲料テスト



設定のロード°



戻る



設定の保存



キーボ°ード°表示

パ°ル上の通知



パ°ル/エラー通知



ミルク温度の表示 (オプ°ション)

4.2 供給可能表示

パ° 祉の供給可能表示は、コーヒーマシンのオ° ションや個々の設定によって異なります。

4.2.1 飲料ホ° タン

供給可能なすべての飲料ホ° タンで照明が点灯しています。

選択したキーレイアウトによってはパ° 祉上を水平にワイ° すすることで他の飲料に進むことができます。



例: カ° チーホ° タン
ホ° タンレイアウト
▷ 操作オ° ション
44° -ジ°

4.2.2 機能ライン

スチ° ムジ° エットパ° ット°

カッ° の温め。



スチ° ムジ° エットパ° ット°
30° -ジ°

ホ° ットリスパ° ット°

※ 「ホ° ットリスパ° ット°」を選択

コーヒ° 管路に熱湯が流れてリスが始まります。これによって抽出装置が加温され、最適なコーヒ° 温度が保証されます。

長い間抽出しなかった後で、特にエス° レッソを供給する前の使用をお勧めします。



ホ° ットリスパ° ット° 有効/無効
▷ 操作オ° ション
42° -ジ°

カッ° サイズ° 調整

次の飲料の飲料サイズ° 選択。



カッ° サイズ° 調整 ▷ 操作オ° ション
43° -ジ°

S-M-Lパッド

飲料サイズ[®] の[®] 選択。事前に飲料を正しく設定する必要があります。



S-M-L
▷操作オプショ[®]
45[°]-ジ

バリスタ[®]パッド[®] - コーヒーの濃さ

	表示	コーヒーの濃さ
押さない	コーヒー豆2つ	ノーマル、設定通り
1回タッチ	コーヒー豆3つ	設定より15%濃い *
2回タッチ	コーヒー豆1つ	設定より15%薄め *



バリスタ[®]パッド[®] 有効/無効
▷操作オプショ[®]
41[°]-ジ

* 1回の抽出で使えるコーヒー粉の量は19 g
コーヒーの濃さを変更すると、その後1回の抽出分だけ濃さが変更されます。

ミルクシステム補充

自動ミルクシステム補充。



ミルクシステム補充
▷操作オプショ[®]
44[°]-ジ

マニュアル投入[®]パッド[®]

マニュアル投入[®]パッド[®] は[®] 選択[®]パッド[®] です。
飲料選択前にマニュアル投入[®]パッド[®] がタップされる場合、パ[®]ネルがマニュアル投入でコーヒー粉を補充するようリクエストしてきます。事前に豆挽きを済ませた別の種類のコーヒーを使用できます。



マニュアル投入 有効/無効
▷操作オプショ[®]
43[°]-ジ

熱湯[®]ポタン

熱湯供給用熱湯[®]ポタン。設定によっては、熱湯[®]ポタンを押した後、2種類の各飲料サイズ[®] で供給する熱湯を3つの異なる温度から選択可能です。
また、熱湯用の飲料[®]ポタンが用意されている場合もあります。



熱湯温度[®] 選択
▷操作オプショ[®]
46[°]-ジ

スチームジレットカップ ウォーマー



火傷の危険/火傷のおそれあり



- スチームジレットカップウォーマーからは、高温のスチームが供給されます。そのため、カップとその周辺の表面が熱くなります。
- 耐熱性のカップを使用してください。
- スチーム供給前には、必ずカップを逆さまにしてカップウォーマーの上に置いてください。
- 供給直後には周辺の表面に触れないでください。
- 供給直後は供給口に触れないでください。
- ドリップグリッドやカップウォーマーなしの状態では、スチームジレット機能を絶対に使用しないでください。

⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降
ドリップトレイは毎日クリーニング
▷カスタマーケア
63ページ以降



健康被害のおそれ/衛生面

- スチームジレット機能はカップを温めるためのものですので、クリーニング用には使用しないでください。
- カップを温めるときは、必ず洗浄して間もないカップをご使用ください。

⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

スチームジレットカップウォーマーは高温の蒸気でカップを加温します。

※ カップウォーマーの上に、カップを下向きにして配置する

※ パッド  をタッチする

高温のスチームが、下からゆっくりとカップの中に流れ込みます。

スチームは、最大で設定した時間分だけ流れ込みます。

※ スチームジレットパッドをもう一度タッチ

直ちにスチームの流れが止まります。



スチームジレットパッド 有効/無効
▷操作ガイドブック
42ページ

4.3 カスタマーケア



メニュー制御パッド[®]
▷概要
27[°]-ジ

カスタマーケア
▷63[°]-ジ 以降
HACCPクリーニング コンセプト[®]
▷77[°]-ジ 以降

システムクリーニング[®]

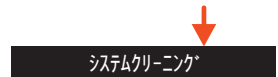
システムクリーニング[®] の後にコーヒーマシンのスイッチを切る、切らないの選択が可能です。

ミキサーリンズ

ミキサーリンズは中間的に行われるミキサーのクリーニング[®] です。

ミルクシステムクリーニング[®]

ミルクシステムクリーニング[®] は単独で開始できます。これはミルク飲料の供給をしばらく行っていないときに有効です。ミルクシステムクリーニング[®] ではミルクシステムクリーニング[®] を行います。



システムクリーニング[®]
▷カスタマーケア
66[°]-ジ 以降



ミキサーリンズ
▷カスタマーケア
68[°]-ジ



ミルクシステムクリーニング[®]
▷カスタマーケア
67[°]-ジ

ミルクシステムを解除する

クリーニング中、クリーニング完了後にミルク飲料をリリースするか聞かれます。「いいえ」を選択した場合、その結果、ミルクなしで飲料が注がれます。「ミルクシステムを解除する」でミルク飲料がまた供給できるようにします。

↓
ミルクシステムを解除する

フォーマーのリス

フォーマーのリスは中間的に行われるミルクフォームのクリーニングです。

↓
フォーマーのリス

フォーマーのリス
▷カスタマーケア
68° -ジ

クリーンロック

※ **クリーンロック** をタッチする

15秒間のカウントダウンが始まります。

この間にタッチパネルのクリーニングを行ってください。

最後にタッチしてから15秒後に、タッチパネルが再び有効になります。

↓
クリーンロック

操作パネルクリーニング
▷カスタマーケア
69° -ジ 以降

説明

使用可能なクリーニングプログラム、ミキサーやクリーニング用コイル供給口の脱着方法が画像で分かりやすく説明されます。

↓
説明

ミルクシステム補充

この機能により、コールド飲料供給のためにミルクシステムを充填します。

※ **ミルクシステム補充** を押します

↓
ミルクシステム補充

ドリップトレのクリーニング

カップ台は「ドリップトレのクリーニング」パッドを押すと高さが上がります。その後、ドリップトレを清掃できません。

↓
ドリップトレのクリーニング

ドリップトレのクリーニング
▷カスタマーケア
70° -ジ

4.4 飲料



概要

供給テスト

大半の飲料設定では、レシピ°を保存する前に新しい設定で飲料供給テストを行えるようになっています。



※ 設定を希望通り変更

※ 「供給テスト」パッド°をタッチ

新しい設定値に従って飲料が供給されます。

※ 新しい設定値の飲料が満足いくものであれば、「保存」アイコン°をタッチ
レシピ°が保存されます。



例: カプチーノボタン

レシピ°を保存する

変更されたレシピ°が保存されます。



レシピ°をロード°する

保存されているレシピ°が飲料ボタンにロードされます。



※ 飲料ボタン°にタッチ

※ 「レシピ°をロード°する」パッド°をタッチ

サブメニュー°が開きます。

※ 希望するレシピ°をマークする

※ 「レシピ°を保存する」パッド°をタッチ

飲料ボタン°に新しく選択したレシピ°が割り当てられます。

カップ容量、複数抽出と供給オプション



カップ容量

希望するカップ容量を設定します。レベルは適切に調節されます。

100%はこれまで保存されている値に相当します。

カップ容量 S-M-L

レベルがSとLサイズのために作成されます。Mは設定通りとなります。

標準値:

S=設定値より25%減量

L=設定値より25%増量

	S	M	L
	72	97	122
	73	98	123
	74	99	124
%	75	100	125
	76	101	126
	77	102	127
	78	103	128

☑ S - 有効 ☑ M - 有効 ☑ L - 有効

飲料ごとにS-M-Lを変更
▷カップ容量

S-M-Lを有効にして全飲料を変更
▷操作オプション
▷S-M-L
45° -ジ

特別ボタン
▷操作
20° -ジ

S-M-L機能

S-M-L機能は操作オプションから有効にできます。基本的に、どの飲料でもデフォルトのカップ容量に対する差分を操作オプションで変更することができます。

その他の各飲料では、S-M-L量はカップ容量オプションから変更でき、

各サイズを有効/無効に個別設定することもできます。無効にすると、各飲料のサイズを選択できなくなります。

複数の抽出

飲料は設定の複数倍抽出されます。ボタンを1回押すだけで、設定量の最大12倍までの供給ができます。コーヒーやミルク入りミックス飲料、供給ボタン「供給」の熱湯で利用できます。

供給ボタン

- **スタート・ストップ**
供給は設定量に達するまで行われます。途中で供給を中止するには、ボタンをもう一度押してください。
- **供給**
設定した量が供給されます。供給ボタンはミルク、ミルクフォーム、熱湯で表示されます。
- **フリーフロー**
ボタンを長押ししている間だけ、飲料やスチームが供給されます。
- **スタート・ストップ フリーフロー**
ボタンを軽く押すとスタート・ストップ 供給となります。ボタンを1秒間以上押すと、フリーフロー供給が開始されます。

供給ボタンでは、熱湯、ミルク、ミルクフォームの設定が可能です。

レシ°の変更



メニュー制御パ°ット
▷概要
27パ°-ジ°



カ°チ-飲料設定
レシ°の変更

現在のレシ°構成

74-A 165ml	1-A Latte 9g, 35ml				
---------------	-----------------------	--	--	--	--

供給順序 → 36 ml 当たりのおおよその量

保管
追加物 初期値:

☐ コーヒー	☐ ミルク	☐ 糖	☐ 一旦停止
☐ 1-A Latte	☐ 74-A	☐ 熱湯	

希望する追加パ°ションにカチしたままドラグします。

現在のレシ°構成

レシ°に含まれている追加パ°ションがここに表示されます。
作成手順は左から右に表示されます。上下に並んでいる追加パ°ションは同時に処理されます。
希望のパ°ションを技術上の理由により選択できないときは、ソフトウェアによって通知が出されます。

工場出荷時設定で用意されている追加パ°ション

レシ°に追加できる追加パ°ションはここに表示されます。

※ 希望する追加物を押し、レシ°作成でもう一度希望する位置を押す
追加物がすぐに希望する位置に追加されます。

追加オプションの削除

マークのついた追加オプションを現在のレシピ構成から削除します。



追加オプションの変更

※ 追加オプションをマークし、「追加オプションの変更」をタッチ追加オプションの変更のメニューが開きます。
選択した追加オプションの設定オプションが表示されます。
保存されたデータと現在のデータが表示されます。



現在の値



サービスエンジニアによって保存された値



工場出荷時の設定値

コーヒー粉の量

単位:グラム(g)



湯量/ミルクの量

単位:ミリリットル(ml)



抽出温度

摂氏温度(°C)表示



コーヒーの質品質

コーヒーの抽出は、品質レベルによって変化します。品質レベルを高くするほど、抽出されるコーヒーの香りと味が強まります。



品質レベル

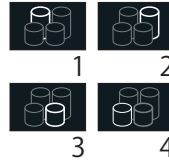
- 1 プレス後、挽いたコーヒーが水を含むようにするためのスプレースが与えられます。
- 2 プレス直後から抽出が始まります。
- 3 プレス後、湿らし行程に入ります。
- 4 プレスと湿らし行程後、2回目のプレスを行います。
- 5 品質4と同様ですが、さらに強くウェットプレスします。
- 6 品質5と同様ですが、さらに強くウェットプレスします。
- 7 品質6と同様ですが、さらに長くウェットプレスします。

注意事項!

抽出用熱湯がわずかな状態で非常に細かいコーヒー粉を使用すると、品質レベルが高い場合は抽出用熱湯エラーが発生することがあります。

コーヒーグラインダーを選択

コーヒー粉の挽く分量全部は10に相当します。全分量は各種グラインダーを合わせることができます。そのため、様々な個別のレシピが可能です。



テキスト、画像、カップ 高さ



メニュー制御パッド
▷概要
27ページ

テキストと画像

ここで飲料の名称と飲料ボタンの画像を設定します。
キーボードパッドにタッチしてキーボードを有効にします。

複数の飲料画像を読み込む
▷USB
61ページ

備考

飲料についてのメモはここに保存できます。

カップ 高さ

自動カップ台。
飲料のカップ高さはここで設定します。
右側のカップアイコンにはカップ高さが割り当てられています。この高さはアイコンを短く押しと保存されます。

サイズ「S」および「L」の飲料は、飲料ボタンの選択前にサイズを選択する必要があります。

ボタンの入れ替え

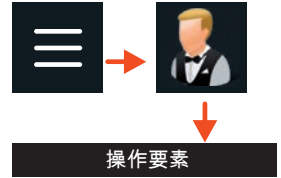
2つの飲料ボタンが入れ替わります。

- ※ 飲料ボタンにタッチ
- ※ 「ボタンの入れ替え」パッドをタッチ
- ※ 入れ替える飲料ボタンにタッチ



4.5 操作オプション

操作要素



セルフサービスモード (セルフサービス)

セルフサービスモードのために、いくつかの機能を無効にすることができます。

無効にしておくと、この機能と該当するパッドが画面に表示されません。

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 無効

セルフサービスモードを有効にすると、直ちに以下のように設定されます。

- ・ バリスパッド: 無効
- ・ ホットリンスパッド: 無効
- ・ メニューパッド: 遅延
- ・ スチームジェット: 無効
- ・ 加糖除去: アイコン
- ・ カップサイズの調整: 無効
- ・ マニュアル投入: 無効
- ・ 飲料プレ選択: 無効
- ・ 飲料取消: 無効

バリスパッド

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 有効

有効 供給可能になるとパッドが表示されます。

ホットリンスパッド

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

有効 供給可能になるとパッドが表示されます。

メニューパッド

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

有効 メニューパッドにタッチすると、メニューパッドが直ちに反応します。

無効 何もないところをダブルタップするとメインメニューに戻ります。

フームジェット

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

有効 供給可能になるとパッドが表示されます。

加減除去

エラーパネルのヘッダーにおいて、様々な色で通知されます。

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

有効 エラーはテキストでパネル上に表示されます。

栄養成分情報

飲料毎の材料および栄養成分値情報の表示。

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

情報はシステム下の栄養成分値情報で管理します。
▷栄養成分値情報
60ページ

カップ サイズ 調整

自由なカップ 容量の選択を、操作オプションで有効にできます。

カップ 容量は飲料選択の前に、使用するカップ サイズ に適合させることができます。

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

レギュラ上のカップ を右にずらすと、カップ 容量が増加し、左にずらすとカップ 容量が減少します。

カップ 容量はパーセント単位で表示されます。

レギュラは中央 設定どおり100%

レギュラは左端 50%減少

レギュラは右端 50%増加



マニュアル投入

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

言語プレセクション

飲料設定について、言語と国旗のプレセクションを可能にするかどうか、ここで設定します。「プレセクション言語」はここで有効にするか、ホットドリンク「SB+フラグ」の選択により有効化可能です。

ホットドリンク「SB+フラグ」
 ▶ホットドリンク
 44℃ -ジ

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

ミルクシステム補充

この機能はミルクシステムを満タンにします。ミルクシステム補充はここで有効にできます。

ミルクシステム補充
▷ カスタマーケア
32ページ

選択オプション: • 有効 • 無効

標準値: 無効

有効 エラーはテキストでパネル上に表示されます。

ホットドリンク

種々の標準ホットドリンクがここに保存されており、選択できるようになっています。



ホットセレクション

選択オプション: • 有効 • 無効

標準値: 無効

有効 飲料の選択後、コーヒーのタイプと飲料サイズを選択できます。

コーヒーのタイプの名称とサイズは変更できます。
(コーヒーのタイプとS-M-L)。

選択オプションは各種装備により異なります。

- サイズ 1、2、3
- ホットショット 1、2、3、4
- ミルク種類 1、2
- コールド飲料



セルフサービスモードのために、いくつかの機能を無効にすることができます。

無効にしておくと、機能と該当するパッドが画面に表示されません。

S-M-L機能

スモール

新たに有効にするサイズ^①の飲料レシ^②のデフォルト変更係数。
標準値:75%

ラージ

新たに有効にするサイズ^①の飲料レシ^②のデフォルト変更係数。
標準値:125%

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

カフェインフリー

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

デカフェ係数

ここでデカフェ係数を入力します。
デカフェ(デカフェのコーヒー)のコーヒー粉の量は、レシ^②に設定されているコーヒー粉の量に対する割合で設定します。
この設定はあらかじめ「デカフェ」を設定すると、全てのコーヒー飲料に対して有効となります。



カップ容量 S-M-L

▷ソフトウェア

▷飲料

34°ラージ

ヒント

飲料サイズ (S/M/L) はレシ^②で定義付けし、飲料ボタンで直接利用可能です。



デカフェ係数を15%にした場合、例えばカフェレムの作成ではデカフェ機能により、挽いたコーヒーを15%増量して抽出されます。

飲料フリ選択

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

有効 事前に選択された飲料はさらに押さなくても供給されます。

ヘッドラインには「飲料フリ選択有効」と表示されます。


飲料フリ選択

飲料取消

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

有効 飲料ボタンを再度押すと、飲料供給を中断できます。

熱湯温度フリ選択

3段階の熱湯温度を70～95°Cの間で設定できます。

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

有効 熱湯ボタンを一度押すと2種類のサイズで3段階供給温度が提案されます。

無効 温度選択はできません。
熱湯温度が事前設定されています。

ミルクフォームの選択

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

ミルクフォーム選択はオートフォームオプションでのみ可能です。

口

メーカーの口

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

有効 メーカー口は準備完了パネルの左上に表示されます。

お客様の口

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

有効 オプションが「有効」に設定されており顧客口が読み込まれている場合、顧客口は運転準備完了時にヘッドライン中央に表示されます。自動販売機と接続されている場合、顧客口が左に表示されます。この場合、口を両方表示することはできません。

お客様の口をポート

顧客口入りの USB スティックを挿し込みます。顧客口を読み込みます。

顧客口 (大)

口は最大 80 度傾斜まで許容されます。それより大きい口は自動でこの大きさにサイズ変更されます。

4.6 インフォメーション

インフォメーションメニューの選択オプションは以下の通りです。



前回の抽出

前回の抽出に関するインフォメーション。



タイマー

1週間のタイマー設定が呼び出されます。ここにはすべてのスイッチオン時刻が表示されます。



サービス

WMF サービスの連絡先。
コーヒーマシンのシリアルナンバー。



カスタマーケア

コーヒーマシンのプログラムから行ったクリーニングとカスタマーケアの記録が表示されます。



浄水フィルタとカルキ除去

浄水フィルタの残り容量と次回カルキ除去のタイミングのインフォメーションが表示されます。



ジャーナル

コーヒーマシン操作中やクリーニング中のイベントとエラーのジャーナル。



4.7 会計



カウンター

供給されたそれぞれの飲料のカウンターと合計飲料数が表示されます。

ジャーナルはUSB出力によって読みだすことができます。

≡		会計		≡	
		カウンター			
飲料	1	2	3	4	
ダブルエスプレッソマキヤト...	2	2	2	2	2
エスプレッソ	1	1	1	1	1

標準設定

カウンター-1=1日のカウンター

カウンター-2=1週間のカウンター

カウンター-3=1ヶ月のカウンター

カウンター-4=1年のカウンター



それぞれのカウンターはリセット可能です。

ヒント

自動販売機

自動販売機として使用する際の取扱説明書を参照してください。

外部会計

ウェア-会計取扱説明書を参照してください。

無料設定

割引設定はオプションの会計機器と一緒に利用できません。




全て無料

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

飲料は無料

選択オプション: 有効 無効

標準値: 無効

メッセージ表示

「すべて割引」が有効の設定になっている場合、ここにテキストを表示できます。(例: 「割引」)。入力されたテキストはヘッドラインに表示されます。

飲料ボタン表示

「すべて割引」が有効の設定になっている場合、ここに飲料ボタン用テキストを表示できます。

4.8 PIN権限

下記のエリアではPINコードを設定できます。

- クリーニング
- 設定
- 会計



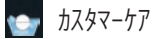
PINには序列が設けられています。

例えば、設定PINはクリーニングPINも兼ねますが、会計PINとしては無効です。

PINを割り当てないエリアは、PIN入力なしでアクセス可能です。PINを割り当てたレベルには、PIN入力なしではアクセスできません。

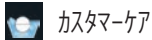
クリーニング PIN

有効なPIN入力すると、次の項目にアクセスできます：



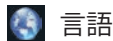
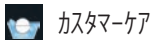
設定PIN

有効なPIN入力すると、次の項目にアクセスできます：



会計PIN

有効なPIN入力すると、次の項目にアクセスできます：



新しいPINを入力

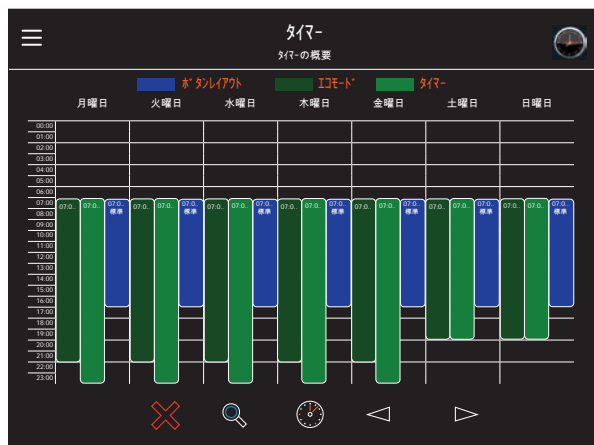
アクセス許可 PIN が割り当てられたら、ここに PIN 番号を入力して新しい PIN を発行します。



4.9 タイマー

タイマー予定表とタイマーの設定

すべてのお・お時刻の概要



本日の詳細

日間・週間予定表を切り替えます。日間予定表には当日のデータが表示されます。



タイマーの入る時間を設定

- 設定したい日(複数可)を選択します。
- スイッチを入れる時刻と切る時刻を設定します。



タイマー設定は選択した全ての日に適用されます。確定後は設定された切り替え時間による週間予定表が表示されます。個々の時刻はこの週間予定表の中で任意に変更できます。

タイマーの状態

タイマーステータスを表示します。

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効

有効 タイマーの切り替え時間が有効になっています。

無効 タイマーの切り替え時間は作動しません。



タイマーの状態

ボタンの概要

ここではボタンの全タイマー切替時間の概要が表示されます。

設定は一覧で直接変更可能です。

概要図とアイコンの説明 ▶タイマー概要、52ページ



ボタンの概要

ボタンの表示時間は最短30分間です

ボタンの状態

選択オプション: • 有効 • 無効

標準値: 無効

有効 ボタンをタイマーによって自動的に割り当てることができます。

21時から6時までセルフサービスなど。



ボタンの状態

エコモードの概要

ここではエコモード用の全タイマー切替時間の概要が表示されます。

設定は一覧で直接変更可能です。

概要図とアイコンの説明 ▷タイマー概要、52ページ

↓
エコモードの概要

エコモード状態

エコモード状態の詳細情報

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効 無効

↓
エコモード状態

時刻/日付

ここでは現在の日付と時刻を設定します。

↓
時刻 / 日付

4.10 システム



クーラー

ミルク保管温度

ミルク保管温度はここで入力します。
 カップ・アンド・ケールの使用時、例は 8 °C 以下。

お知らせ

ミルクが空になった時に通知を起すかをここで設定します。空になった時の通知は、飲料ロックと関連づけられます。これは、特にセルフサービス運転の際に必要で、これにより支払いを終えた飲料は満杯に供給されます。

温度センサー

ミルク温度の計測

プログラムディスプレイ

選択オプション: 棒グラフ、円グラフ、お

標準値: 棒グラフ



温度監視付
 カップ・アンド・ケールオプションで可能です。



ディスプレイと照明

↓
ディスプレイと照明

照明

点灯色はここで設定します。
カーソルの三角形で希望の色を設定してください。RGB数値による色の設定も可能です。

その他の選択オプション:

- 色の変更 ゆっくり
- 色の変更 標準
- 色の変更 速く
- 切

ただちに現在の設定が表示されます。



供給可能な場合の照明

- 運転色ページ

イベントの表示 (通知)

選択オプション: • 有効 • 無効

標準値: 無効

コヒー豆が空になっているというメッセージなど。

有効 メッセージ表示中、照明の調整ができます。

メッセージ (イベント) の照明

- イベント色ページ

ディスプレイの照度

ディスプレイの照度の照度はここで設定します。

ディスプレイ照度は自動的に減少

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 有効

有効 照度減少が「有効」になっていると、飲料供給から5分後にパネルの照度が自動的に減少します。

ディスプレイの照度が暗くなっている状態でパネルに一度タッチすると、再び選択された照度に戻ります。その後もう一度飲料供給ボタンにタッチすると、その飲料の供給が始まります。

タッチキャリブレーション

タッチパネルのキャリブレーションを新たに行います。

パネルの背景

タッチパネルのカラーデザインを設定できます。

- ・ メインパネルの色
- ・ その他のパネルの色

飲料:大文字

飲料ボタンの飲料名は大文字です。

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 無効

浄水フィルタ

選択オプション: 有効 無効

標準値: 有効 無効

有効 浄水フィルタが取り付けられています。フィルタの容量と水の硬度の入力が必要です。

フィルタ容量


フィルタ範囲 (単位: リットル) はここで入力します。

硬度の計測

測定した水の硬度を $^{\circ}$ dKH単位で入力します。

※ 飲料水の水の硬度は、水道事業者に照会するか、付属品にあるWMF 炭酸硬度テスト (説明書付き) を使用して検出する

炭酸硬度テストキットは付属品と共に送られます。

 水の硬度を不適切に設定してコーヒーマシンを運転すると、多くの故障が発生し、バルブの密閉性が失われるおそれがあります。これにより損害が生じても保証は適用されません。

総硬度の計測

ここには総硬度を入力します。


浄水フィルタ

注意事項

水の硬度が $0 \sim 5^{\circ}$ dKH の場合、浄水フィルタは不要です。

水道水接続があるコーヒーマシンの場合、Bestmax V 浄水フィルタの使用を推奨します。

注意事項

エコート[®]

ここではエコート[®]を有効にできます。



エコート[®]

エコート[®]

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 無効

▷エコート[®]
60[°]-ジ

スイッチを切る

選択オプション: なし/30 min/60 min/90 min/
120 min/150 min/180 min 不可。


標準値: なし

スイッチオフリス

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 有効

有効 最後にクリーニング[®]を実行してからミルク飲料を供給している場合には、コーヒーマシンのスイッチを切る際に、スイッチオフリスを実行しなければなりません。



スイッチオフリス

グラインダ[®]挽き粗さ設定

教育を受けた専門社員およびサービスにのみ。



グラインダ[®]挽き粗さ設定

抽出圧表示

ここではグラインダ[®]圧表示を有効にできます。

選択オプション: ・ 有効 ・ 無効

標準値: 無効

栄養成分情報

ここでは「ライナー」、ポーション、ミルク、ミルクフォーム毎に栄養成分値および材料に関する詳細情報が記録されます。概要が確認できます。

4.11 言語

パネル上で使用する言語を設定します。使用できる言語が英語で表示されます。



4.12 エコモード

エコモードが「有効」になっているとき、最終の飲料供給終了から10分後にスチームボイラの温度が下がります。飲料ボタンは点灯したままです。温度が下がっている状態でミルク入り飲料を供給するときは、コーヒーマシン加熱のために15秒間ほど必要になります。飲料作成は加熱の後に始まります。



▷ エコモード
59°C - 57°C

エコモード

選択オプション: ・ オフ ・ オン ・ タイマー
標準値: オン



ここではエコモードを有効にできます。

エコモード表示

供給可能表示では、ヘッドにエコモードのアイコンが表示されます。2つのステータスがあります。

エコモード「有効」

コーヒーマシンは現在温度低下段階にあります。



エコモード「レディ」

エコモードは待機時間に応じて制御され、最後に飲料供給してから10分後に有効になります。



クイックスタート

エコモード設定が「有効」である場合には、エコモードのアイコンが供給可能表示に表示されます。



アイコンにタッチする場合、エコモードがすぐに有効になります。

アイコンが「有効」に切り替わります。

4.13 USB

USB接続口からはデータの交換が可能です。
USB接続口は操作パネル裏側の左上の、カバーの背後にあります。



レシピをロードする

保存されたレシピはここからロードします。



飲料のマークをロードする

USBから飲料の画像またはマークをロードしてください。



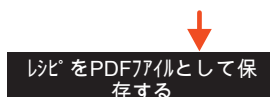
レシピを保存する

レシピをコーヒーマシンからUSBに転送します。



レシ° をPDFファイルとして保存する

レシ° 資料



カウンターのエクスポ° -ト

カウンターをUSBへ転送してください。



HACCP イクスボ° -ト

実行されたクリーニング° はジャーナルに記録され、ここにHACCP実施の証明としてイクスボ° -トされます。



デ° -タのバックアップ°

マシンのデ° -タ、飲料のデ° -タ等の設定デ° -列はここで保存します。



デ° -タをロ° -ト° する

マシンのデ° -タ、飲料のデ° -タ等の保存されているデ° -列はここでロ° -ト° します。
(PINで保護可能)



言語をロ° -ト° する

利用できる場合には、他のパ° 訃言語をUSBスティックからコーヒ° -マシんにロ° -ト° します。



ファ° -ムウェアの更新

サ° -ビ° スイン° ニア専用。



5 カスタマーケア

5.1 カスタマーケアについての安全上の注意事項

コーヒーマシンが正常に作動し、コーヒーの質品質をいつでも最適なものにするためには、定期的なクリーニング[®]は不可欠となります。



健康被害のおそれ/衛生面

- ミルクは非常に傷みやすい食品です。ミルクシステムの中で細菌が繁殖して健康に悪影響を与える恐れがあります。
- > ミルクシステムは毎日クリーニング[®]してください。
- > 必要に応じてシロンキャップ[®]を取り外して清掃します。
- > ミルクホースは定期的に交換してください。
- > 全ての衛生面の注意事項に従ってください。
- > HACCPクリーニング[®]コンセプトに従ってください。

注意

安全性についての章を参照
▷68ページ以降



健康被害のおそれ/衛生面

- 使用停止中のコーヒーマシンの中で細菌が繁殖する恐れがあります。
- > 数日間運転を停止する場合、運転停止前と運転再開時にすべてのクリーニング[®]を行ってください。

注意

安全性についての章を参照
▷68ページ以降



健康被害のおそれ/衛生面

- すべての洗剤はクリーニングプログラム用に最適に調整されています。
- > WMFのクリーニング剤および水垢除去剤だけを使用してください。

注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降



健康被害のおそれ/ 刺激・火傷のおそれあり



- クリーニング中に供給口から高温のクリーニング液と熱湯が出ます。
- 高温になった液体によって皮膚に刺激や火傷を受けるおそれがあります。
- > クリーニング中は絶対に供給口の下に手などを入れないでください。
- > 洗剤は絶対に飲まないでください。

注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降



ダイミックミルク

119分間ミルク飲料が供給されないと、自動的にミルクシステムが始まり、新鮮なミルクが補充されます。

注意事項

5.2 クリーニング頻度の概要

カスタマーケア				
日 毎	毎 週	定 期的 的	自 動	
クリーニングプログラム				
X				システムクリーニング ▷66 ^h -ジ ^o
X				ミルクシステムクリーニング ^o ▷67 ^h -ジ ^o
X				ミキサーリンス ▷68 ^h -ジ ^o
			X	フオーマーのリンス ▷68 ^h -ジ ^o
クリーニング(手作業)				
X				操作パネルクリーニング(クリーンロック) ▷69 ^h -ジ ^o
X				コーヒーが受けのクリーニング ^o ▷69 ^h -ジ ^o
X				トリップトレのクリーニング ^o ▷70 ^h -ジ ^o
X				外装のクリーニング ^o ▷70 ^h -ジ ^o
		X		収集のクリーニング ^o ▷71 ^h -ジ ^o
		(x)		シリコンキャップのクリーニング ^o ▷71 ^h -ジ ^o
(x)	X			ミキサーのクリーニング* ▷74 ^h -ジ ^o
		X		コーヒー豆ホッパーのクリーニング ^o ▷75 ^h -ジ ^o
		X		パウダーホッパーのクリーニング* ▷76 ^h -ジ ^o



- 毎日 = 最低毎日1回、必要に応じて随時
- 毎週 = 毎週1回クリーニング
- 定期的 = 必要に応じて定期的に実施
- 自動 = 自動プログラム
- (x) = 必要に応じて
- * = オプション(装備により異なる)

5.3 クリーニングプログラム

5.3.1 システムクリーニング

システムクリーニングは自動クリーニングプログラムであり、WMFクリーニングタブレットでコーヒーマシンのコーヒーステムをクリーニングします。
ミルクシステムクリーニングとミキサーリンスはシステムクリーニングの一部です。
合計で約10分かかります。



健康被害のおそれ/ 刺激・火傷のおそれあり



- ・ クリーニング中に供給口から高温のクリーニング液と熱湯が出ます。
- ・ 高温になった液体によって皮膚に刺激や火傷を受けるおそれがあります。
- > クリーニング中は絶対に供給口の下に手などを入れないでください。
- > 洗剤は絶対に飲まないでください。



クリーニングプログラムはパネルによってシステムクリーニングの各ステップをガイドします。
表示される通知に従ってください。

説明
▷メニュー
▷カスタマーケア
▷説明

注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

ヒント

システムクリーニング

システムクリーニングには青色の特殊クリーニングコンテナのクリーニングが必要です。

開始

- * カスタマーケアメニューを呼び出す
- * **システムクリーニング** をタッチする
- * パネルに表示される指示に従って操作



5.3.2 ミルクシステムクリーニング



健康被害のおそれ/ 火傷のおそれあり

- ・ リンス中はコンロ供給口から熱湯が出ます。
- > リンス中に絶対に手などを供給口の下へ入れないでください。

ミルクシステムクリーニングは単独で開始できます。これはミルク飲料の供給をしばらく行っていなかった時に有効です。

ミルクシステムクリーニングではミルクシステムクリーニングを行います。ミルクシステムクリーニングには青色のクリーニングコンテナのクリーニングおよびミルクシステムの特殊クリーニングタブレットが必要です。

- * カスタマーケアメニューを呼び出す
- * **ミルクシステムクリーニング** を押します
- * パネルに表示される指示に従って操作

⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

説明
▷メインメニュー
▷カスタマーケア
▷説明

5.3.3 ミキサーリンス



健康被害のおそれ/ 火傷のおそれあり

- リンス中はコップ[®] 供給口から熱湯が出ます。
> リンス中に絶対に手などを供給口の下へ入れないでください。

ミキサーリンスは単独で開始できます。

- * カスタマーケアメニューを呼び出す
- * **ミキサーリンス** をタッチする
- * パネルに表示される指示に従って操作

⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

説明
▷メインメニュー
▷カスタマーケア
▷説明

5.3.4 フォーマーのリンス



健康被害のおそれ/ 火傷のおそれあり

- リンス中はコップ[®] 供給口から熱湯が出ます。
> リンス中に絶対に手などを供給口の下へ入れないでください。

フォーマーのリンスは単独で開始できます。また、ミルクフォーマーのリンスも自動的に行うことができます。設定した時間が来ると、最後のミルク飲料供給が終わると、自動で開始します。フォーマーのリンスが自動で始まる前に、警告信号音が鳴ります。

フォーマーのリンスが有効になっているときは、飲料の入ったカップをコップ[®] 供給口の下に置かないでください。

- * カスタマーケアメニューを呼び出す
- * **フォーマーのリンス** をタッチする
- * パネルに表示される指示に従って操作

⚠ 注意

安全性についての章を参照
▷6ページ以降

説明
▷メインメニュー
▷カスタマーケア
▷説明

5.4 クリーニング (手作業)

WMFカスタマケア® のための注
文番号
▷ アクセサリーとスプレッド
92° - ジ

5.4.1 操作パッドのクリーニング (クリーンロック)

「クリーンロック」をタッチすると、15秒のカウントダウンが始まります。この間にタッチパッドのクリーニングを行ってください。最後にタッチしてから15秒後に、タッチパッドが再び有効になります。

火傷のおそれあり

- 誤って飲料供給が開始されると、怪我するおそれがあります。
- > クリーニングの前には、必ず「クリーンロック」でタッチパッドをロックしてください。

注意

安全性についての章を参照
▷ 68° - ジ 以降



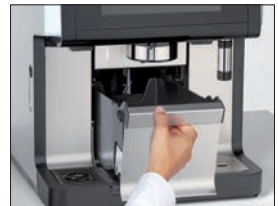
- クリーニング中にパッド表面に傷をつけるおそれがあります。
- > パッドは必ず湿った布でクリーニングしてください。洗剤は使用しないでください。
- > クリーニングには柔らかい布を使用してください。
- > 湿らせたマイクロファイバークロスの使用をお勧めします。

重要

保証の章に注意
▷ 87° - ジ 以降

5.4.2 コーヒー受けのクリーニング (挽いた豆のスライド / オプション)

- * コーヒー受けを空にし、流水で洗浄
- * 湿った布でクリーニングする
- * コーヒー受けは乾燥させてから再び設置する



5.4.3 ドリップトレのクリーニング



火傷のおそれあり



- ドリップトレには高温の液体がたまっていることがあります。
- クリーニング後などでカップ台・ドリップトレを正しくはめ込んでいない場合、高温の液体で火傷を負うおそれがあります。
 - ドリップトレは慎重に動かしてください。
 - 再び設置するときには、水が不意にこぼれないように注意してください。
 - カップ台・ドリップトレが正しく取り付けられているか、必ず確認してください。

- * カスタマーケアメニューを呼び出す
- * **ドリップトレのクリーニング** を押す
カップ台を上に移動させる
- * カップ台・ドリップトレ [1] の右下にあるロックを外す
- * カップ台・ドリップトレ [1] を引く
- * ドリップトレ [2] を取り除く
- * 両方のドリップトレを入念にクリーニングする
- * ドリップトレを最後に清潔な飲料用水でリンスする
- * ドリップトレを乾かし、元の位置に装着する

5.4.4 外装のクリーニング



- クリーニング中にパッド表面に傷をつけるおそれがあります。
 - 研磨剤の類はクリーニングで使用しないでください。
 - 刺激の強い洗剤は使わないでください。
 - クリーニングには柔らかい布を使用してください。
 - 湿らせたマイクロファイバークロスの使用をお勧めします。

金属表面 (マット加工) の手入れには、WMF Purargan®クリーナーの使用をお奨めします。

注意

安全性についての章を参照
▷6ページの以降



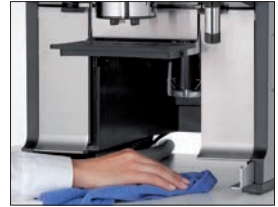
重要

保証の章に注意
▷87ページの以降

5.4.5 収集のクリーニング

収集トレは定期的に取り出してクリーニングします。
 収集トレに少量の水がある場合、これは漏れを表すのではなく、システム上の理由によるものです。
 収集トレはコーヒーが受けの下にあります。
 収集トレは必要に応じてクリーニングします。

- * コーヒーが受けを外す
- * 収集トレを取り外し、清潔な飲料水で入念にクリーニングする
- * 収集トレを乾燥させ、設置する
- * コーヒーが受けをセットする



5.4.6 コンビ® 供給口を手作業でクリーニング



コンビ® 供給口とフォーマは取り外してはいけません。

定期的にコンビ® 供給口の汚れを軽く湿らせた布で拭き取り、供給口を適切なブラシでクリーニングしてください。

シリコンキャップ® は必要に応じてクリーニングします。

- * シリコンキャップ® をコンビ® 供給口から取り外す
- * シリコンキャップ® は流水で入念に洗浄する
- * シリコンキャップ® を再びセットする

重要

保証の章に注意
 ▷87° -ジ° 以降



説明
 ▷メインメニュー
 ▷カスタマーケア
 ▷説明

5.4.7 スチームノズルのクリーニング

火傷の危険/火傷のおそれあり



• 飲料とスチームの供給中は、高温の液体が供給口から排出されます。このため、供給口や、隣接エリアの表面が高温になります。



- > 飲料やスチームの供給中は、供給口の下に触れないでください。
- > 供給直後は供給口に触れないでください。
- > 供給中、常に適切な飲料容器を使用します。

注意

説明

▷メインメニュー

▷カスターケア

▷説明

毎日

* 5 mlの洗浄液を、高さのある0.5リットルの容器でめるま湯と混ぜる

* スチームノズルを洗浄液に浸し、スチームボタンないしオートスチームボタンを短く押す

作用時間:30分

* ブラシでクリーニング

* 水で入念に洗浄

* スチームボタンをタッチする

スチームにより、スチームノズルの穴から分解された残留ミルクが取り除かれ、残っている洗剤が除去されます。



毎週

- * スチームノズルを回して外す
- * スチームノズルを5時間以上洗浄液に浸す
- * ブラシでクリーニング
- * 冷水で入念に洗浄する
- * スチームノズルをオートスチーム供給口にねじ回して取り付ける
- * スチームノズルを清潔な水が入った容器に入れる
- * オートスチームボタンを短く押す
- * 湿した布でスチームノズルを拭く



5.4.8 ミキサーのクリーニング

使用するパワータ-に応じて、クリーニング回数を増やしてください。

火傷のおそれあり

- ミキサーリスがしっかりと差し込まれていないと、熱湯や高温のパワータ-飲料が不意に流れ出ることがあります。
➤ ミキサーリスはしっかりと差し込んでください。

※ 操作パネルを上にかざす

毎日

- ミキサーカップを取り外す
- ミキサーカップを4つの部品に分解する
- 部品は流水で入念に洗浄する

必要に応じて (毎週)

- 4つの部品はすべて少なくとも4時間は50 ml の WMF 洗浄剤が入った洗浄液に浸す
- 4時間経過後、再度流水で入念にすすぐ
- 部品を完全に乾かす

組み立てにあたっては、全ての開口部が必ず同じ方向を向くようにしてください。

- すべての部品を再び組み立てる
- ミキサーカップを再びセットする

注意

安全性についての章を参照
➤ 6ページ以降

説明
➤ メインメニュー
➤ 加タマ-ケア
➤ 説明



5.4.9 コーヒー豆ホッパーのクリーニング

コーヒー豆ホッパーは必要に応じて定期的にクリーニングしてください。推奨: 毎月1回。



怪我のおそれあり

- 長い髪の毛はグライNDERに巻き込まれ、コーヒーマシンに引き込まれるおそれがあります。
- コーヒー豆ホッパーを取り外す前に、ヘアネットを被り、髪の毛を保護してください。

注意



指などが挟まれるおそれ/ 怪我のおそれあり



- コーヒーマシンの可動部で指や手を怪我するおそれがあります。
- コーヒーグライNDERや抽出装置の開口部に触れる場合、その前に必ずコーヒーマシンのスイッチを切り、主電源からプラグを外してください。

注意



- コーヒー豆ホッパーは絶対に食器洗い機で洗浄しないでください。

重要

※ 操作パネルを上に動かす

操作パネル裏の右側に、オン/オフボタンがあります。

※ コーヒーマシンのスイッチがオフになるまで、オン/オフボタンを押す

※ 主電源からプラグを抜く

※ マルチツールを使い、コーヒー豆ホッパーのロックを反時計方向に回して外す

※ コーヒー豆ホッパーを持ち上げて外す

※ コーヒー豆ホッパーを完全に空にし、軽く湿らせた布巾で丁寧に汚れをふき取る



ロックを90°回す



- ※ コーヒー豆ホッパ[®]-を完全に乾かす
- ※ コーヒー豆ホッパ[®]-に豆を投入して元通り装着
- ※ マルチツールでロックを時計方向に閉じる

5.4.10 パウダ[®]-ホッパ[®]-のクリーニング

使用するパウダ[®]-にに応じて、クリーニング[®] 回数を増やしてください。

- ※ 操作パ[®] 祉を上[®]に動かす
操作パ[®] 祉裏の右側に、木ノボ[®] タンがあります。
- ※ コーヒーマシンのスイッチが木ノボ[®] になるまで、木ノボ[®] タンを押す
- ※ 主電源からプラグ[®] を抜く
- ※ マルチツールを使い、パウダ[®]-ホッパ[®]-のロックを反時計方向に回して外す
- ※ パウダ[®]-ホッパ[®]-を後に傾け、持ち上げて外す
- ※ パウダ[®]-ホッパ[®]-を完全に空にする
- ※ 前後のイコナットを外す
- ※ ホ[®]-シヨナーのスクリューを引き出す
- ※ パウダ[®]-ホッパ[®]-に付着した汚れを軽く湿らせた布巾で丁寧にふき取る
- ※ ホ[®]-シヨナーのスクリューの個々の部品を入念にクリーニング
- ※ パウダ[®]-ホッパ[®]-と個々の部品を完全に乾燥させる
- ※ ホ[®]-シヨナーのスクリューを再び組み立てて設置し、イコナットを締める



ホ[®]-シヨナーと個々の部品。
ホ[®]-シヨナーのスクリュー

! 排出口が正しい位置にきていることを確認してください。

- ※ パウダ[®]-ホッパ[®]-にパウダ[®]-を充填して元通り装着
- ※ マルチツールでロックを時計方向に回して閉じる

重要

6 HACCPクリーニングコンセプト

飲食店経営者には、来店するお客様が健康被害のおそれにとさらされることがないように、提供する食品への注意が法的に義務付けられています。危険の認識・判定のため、HACCP (Hazard Analysis Critical Control Points) クリーニングコンセプトの導入が必要になります。このマシンの使用場所でリスク分析を行うようにしてください。分析の目的は、食品衛生面で危険な個所の確認と解消にあります。そのためにはモニター・検査工程を定め、実施する必要があります。設置状態が適切で、ガスターマケやメンテナンス、クリーニングが正しく行われている場合、WMFコーヒーマシンは上記の条件を満たした状態となっています。コーヒーマシンのガスターマケとクリーニングが適正になされていない場合には、供給されるミルク飲料は食品衛生の面から危険がありません。

HACCPクリーニングコンセプトの要件を満たすために、以下の項目をお守りください。

ミルクシステムを毎日消毒

- ガスターマケの章にあるミルクシステムのクリーニングについての指示に従ってください。これにより、業務開始時にシステムに細菌がない状態を確保できます。

「1997年8月5日 食品衛生指令」



日常のクリーニング評価に当社のHACCPクリーニングコンセプトをご活用ください。

HACCP イクスポート
▷62ページ

WMFが認可した洗剤のみを使用してください。

ガスターマケの章を参照
▷63ページ以降



インフォメーションパッド  からは前回のクリーニングのプロトコルを呼び出すことができます。
USBパッド  から、HACCPジャーナルをイクスポートできます。

ヒント

業務開始時は常に新たに開封した冷蔵ミルクを使用

- 未開封のロングライフミルクは通常細菌は存在しません。業務開始にあたっては常に冷蔵しておいたミルクパックを新しく開けてお使いください。
- ミルクパックを開封する時には衛生面に特に注意してください。汚れた手やツールに付着した細菌が、ミルクパックを開く際に入り込むことがあります。

ミルクは冷蔵してください！

- 必ず冷蔵した予備の新しいミルクパックを用意しておいてください。
- ミルククーラーを使わずにマシンを使用するときは、ミルクをできるだけ早く使い切ってください。必要に応じてミルクを時々冷やしてください。
- 冷蔵していたミルクを開封後少ししか使わないときは、業務中も冷蔵してください。

推奨：

乳脂肪分1.5%のロングライフ牛乳を使用してください。

業務開始時のミルク温度は約6～8℃になっていなければなりません。

設定によっては1リットルのミルクで約20杯分のカフェノを作れます。

WMFでは様々な冷却方法を利用できます (WMF小型クーラーまたはWMFミルククーラーなど)。

HACCPクリーニングコンセプト

月 _____ 年 _____

冷蔵されたロングライフのみを使用してください。これを守らないと、微生物や細菌により健康に被害がおよぶ恐れがあります。
パウダー飲料に使用するパウダーには必ず賞味期限内のものを使用してください。

クリーニングステップ：

- システムクリーニングを実施
▷取扱説明書、章「カスタマーケア」
- ミルクシステム全体のクリーニング
毎日標準、毎週アラブ・アンド・クリーン
- 毎日のミキサー
▷取扱説明書、章「カスタマーケア」
- 3a. 作動開始から4時間経過したら、ミルクシステムのリスとコピレ供給口の交換を実施 (特に供給数が少ない場合や、ミルクが冷蔵されていない場合は必須)
3b. 毎週1回ミキサーのクリーニングを行い、おカレ (コヒー豆 / パウダー) を定期的にクリーニング ▷取扱説明書、カスタマーケアの章
4. 一般的なマシンのクリーニング

項目	クリーニング ステップ				署名
	1	2	3	4	
1.					
2.					
3.					
4.					
5.					
6.					
7.					
8.					
9.					
10.					
11.					
12.					
13.					
14.					
15.					
16.					

項目	クリーニング ステップ				署名
	1	2	3	4	
17.					
18.					
19.					
20.					
21.					
22.					
23.					
24.					
25.					
26.					
27.					
28.					
29.					
30.					
31.					

7 メンテナンスと加片除去

本コーヒーマシンは業務用のため、定期的にメンテナンスと加片除去作業が必要となりますのでご注意ください。

メンテナンスの時期はコーヒーマシンの使用期間により決まり、パネルに通知されます。WMF サービスによるメンテナンスでは、同時に抽出装置の加片除去も実施されます。

コーヒーマシンは通知表示後も使用できますが、コーヒーマシンの機能異常や二次的な損傷を防ぐためにもお客様自ら早めにメンテナンスを行うか、メンテナンス作業の実施を依頼してください。

7.1 メンテナンス

パネル上に通知が表示されたあとのメンテナンスは、WMF サービスまたは必要なトレーニングを受けた作業員以外は行わないでください。

サービス・メンテナンス通知
▶メッセージと注意事項
80ページ

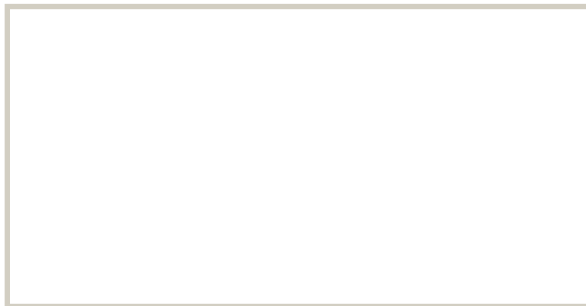
7.2 WMF サービス

WMF サービスにつきましては、お近くの修理センターが不明な場合は下記にお問い合わせください。

重要!

メンテナンス、修理などにつきましてはお近くのWMF サービスまでお問い合わせください。電話番号はコーヒーマシンに貼ったラベルと納品書に記載されています。

WMF Group GmbH
Eberhardstraße 35
D-73312 Geislingen (Steige)



8 メッセージと注意事項

8.1 操作上の通知

コーヒー豆を補充


※ コーヒー豆ホッパ[®] -を補充(表示参照)

※ 確認:

• コーヒー豆ホッパ[®] -のロックが解除されていますか?

▷ [カスタマーケア](#)

• コーヒー豆がスムース[®] に落ちません。

※ 大きめのスポーン[®]でかき回して  で確定する

給水してください

※ 水道の栓を開き、確定する

コーヒー加受けを空にする

※ コーヒー加受けを空にする

コーヒー加受けがありません

※ コーヒー加受けを再び正しく設置する

浄水フィルタを交換

※ WMF サービスに連絡

浄水フィルタの取扱説明書を参照してください。

エラーは本取扱説明書で確認する

エラー番号の表示

▷ エラー通知と不具合

WMF サービスに連絡

エラー番号の表示

▷ エラー通知と不具合

サービスメッセージ

この通知がパネルに表示されると、サービスメンテナンスが必要です。

※ WMF サービスに連絡

サービス通知は注意事項です。通常、コーヒーマシンはそのままお使いいただけます。

8.2 エラー通知と不具合

エラー通知が表示されたときや不具合発生時の基本的手順は次の通りです。

- * コーヒーマシンのスイッチを切り、数秒後もう一度スイッチを入れる
- * エラーが発生したときの操作を再試行


多くの場合、これによって不具合が解消され、正常に作動させることができます。


この操作で解消できなかった場合：エラー表示またはエラー番号をもとに以下の表を参照して対応してください。

それでも解消できないか表示されたエラーが記載されていない場合は、WMF サービスにご連絡ください。

通知の中には個別機能が停止するものがあります。この場合、飲料ポットの照明が消えます。飲料ポットが点灯している飲料では引き続き供給が可能です。

WMF 9000 S+には診断プログラムが装備されています。発生したエラーはパネル上に表示されます。表示されるエラー通知は、原因の一つに主電源の異常も考えられます。

現在エラーが発生しているか、管理責任者への注意事項がある場合、パッド  が表示されます。

- *  をタッチする
エラー通知およびエラー番号が表示されます。



コーヒーマシンはボタンを押してから約1秒後に反応し、オになります。
不具合の解消のため(ソフトウェアのリリースなど)、
ボタンを長押しして制御システムの電源を切ってください。

注意事項

8.3 エア通知なしの不具合

不具合図	対応
<ul style="list-style-type: none"> • ミルクが容器に入っているのにミルクフォーム／ミルクが出ない 	<ul style="list-style-type: none"> * ミルクホースが折れたり、押しつぶされていないか確認 * シリコンキャップを取り除き、清掃する * ミルクシステムクリーニングを実行 ▷ミルクシステムクリーニング▷カスタマーケア、67ページ
<ul style="list-style-type: none"> • ミルクフォームがきれいに仕上がらない • 温度が低すぎるか、高すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> * ミルクホースが折れたり、押しつぶされていないか確認
<ul style="list-style-type: none"> • ミルクフォーム供給時にミルクが飛び散る • ミルクが熱くなりすぎる 	<ul style="list-style-type: none"> * ミルクシステムがクリーニングされているかを確認 * ミルクシステムをクリーニング ▷ミルクシステムクリーニング▷カスタマーケア、67ページ * 使用しているミルクが十分冷蔵されているかを確認する
<ul style="list-style-type: none"> • パウダー-飲料詰まり 	<ul style="list-style-type: none"> * クリーニングとリンスを必要なら毎日でも実施 ▷クリーニング頻度の概要、65ページ * パウダー-量を減らす * 水の量を増やす

9 安全性と保証

9.1 コーヒーマシンに対する危険



取扱説明書を確認

注意事項に従わずに起きた損傷については、保証対象外となります。設置・使用条件を守ってください。

設置場所

- ・ 設置場所には必ず乾燥した水の飛び散らない場所を選んでください。
- ・ コーヒーマシンからは常に少量の凝縮水や水、蒸気が流れ出る可能性があります。
 - > コーヒーマシンを屋外で使用しないでください。
 - > コーヒーマシンは水しぶきがかからない場所に設置してください。
 - > 設置面への損傷を防ぐため、コーヒーマシンは必ず防水性があり、熱に強い敷物の上に設置してください。

コーヒークラインダ®

- ・ 異物が混入するとコーヒークラインダ® が破損するおそれがあります。このような損傷は保証対象外となります。
 - > 従って、コーヒー豆ホッパー® に異物が混入しないように注意してください。

重要

保証の章に注意
▷ 87° -ジ 以降
設置・使用条件
▷ 13° -ジ 以降

コーヒーマシンの技術的トラブルや損傷を避けるために、以下の注意事項に従ってください：

- 5 °dKH (炭酸硬度) 以上の飲料水向けには、WMF 浄水フィルタをご使用ください。フィルタを使用しないと、カルシウムがコーヒーマシン内に堆積され、マシンが破損するおそれがあります。
- 安全を確保するために、業務終了時には必ず主電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。水道水接続がある機械の場合、水道のメインコックは閉じていなければなりません。
- 損傷を防ぐために、以下の対策を推奨します：
 - 水道に適切な水検出器を取り付ける
 - 煙感知器の取り付け
- 休みの後でマシンの運転開始を再度行う前に、クリーニングプログラムを2回以上実行することを推奨します。

システムクリーニング
▷ カスタマーケア
66° -ジ° 以降

9.2 ガイドライン

メーカー: WMF Group GmbH, 73312 Geislingen (Germany)

本機はMRL (MD) 指令2006/42/EG (EC)、EMC 指令2014/30/EU および RoHS 2011/65/EG (EC)に関連する全ての指令に準拠しています。

上述の製造者はこのマシンがこれらのガイドラインに関連する全ての指令を遵守していることを宣言します。

当社の許可なしに装置に変更や改造を加えると、この解説は有効性を失うものとし、技術関連資料の作成: WMF Group GmbH.

本機には適合解説書の原本が同梱されています。

本機にはCEマークが付与されています。

本機は現行のドイツ食品および飼料法記録 (LFGB)、ドイツ消費財条例 (BedGgstV)、EU規則10/2011、EU規則1935/2004に準拠しています。

適正な目的で使用する場合、本機による健康被害のおそれや、不当な危険はありません。

使用される材料および原材料は、ドイツ消費財条例および欧州委員会 (EU) 規則No.10/2011に準拠しています。

EU以外の国々では、該当するその国々の規則が適用されます。

本機は電気電子機械廃棄物指令 (WEEE 2012/19/EG (EC)) により、一般廃棄物としての廃棄が禁止されています。

EC規則No. 1935/2004基準でのトレーサビリティを確立し、EC規則No. 2023/2006に準拠した製造管理および品質管理に関する基準による製造を確実に行うことを、当社は保証いたします。



廃棄の際には、WMF サービスまでお問合せください。

連絡先
▷ 79^{er} -ジ

9.3 管理責任者の義務

マシンの管理責任者は、WMF のサービス技術者、WMF の依頼を受けた技術者、またはその他の権限を有する技術者による定期的なメンテナンスと、安全に関する装置の点検を手配しなければなりません。

サービス領域へのアクセスが認められているのは、特に安全性や衛生面に関する本機の知識・経験が豊富なスタッフのみとなっています。

コーヒーマシンは、支障なくカスタマーケアやメンテナンスを行える場所に、管理責任者が設置してください。

事務所や厨房での使用など、セルフサービスでコーヒーマシンをご使用になる場合は、操作方法を心得たスタッフがコーヒーマシンを管理しなければなりません。トレーニングを受けたスタッフがカスタマーケア措置を守っていることを確認し、利用上の質問に対応するようにしてください。

マシンを使用する施設の電気設備と運転設備が使用地域の規定に準拠していることを、管理責任者は確認しなければなりません(ドイツ法的損害保険組合規定3など)。コーヒーマシンを安全にお使いいただくためには、特にセーフティバルブと圧力容器の定期的な点検が必要です。

これらの措置はWMF サービス、またはWMFが権限を与えたサービス技術者によって、メンテナンス作業の一環として行なわれます。

マシンのクリーニングには、必ずWMFの指定によるコーヒーマシンのWMF特殊洗剤(タブレット)とミルクシステム用のWMF特殊洗剤(液体)をご使用ください。

装置のカルシウム除去はWMFサービスエンジニアにお任せください。

メンテナンスのサイクルと頻度につきましては製造者が定める内容(▶メンテナンス)に従ってください。

WMF特殊カルシウム除去剤
▶アケサリとスハッパーツ
92° -ジ

9.4 保証請求



取扱説明書を確認

- ・ 注意事項に従わずに起きた損傷については、保証対象外となります。
- > 設置・使用条件を守ってください。

重要

設置・使用条件
▷13℃ -ジ 以降

購入者への保証の有無と、購入者への保証がある場合の保証条件は、購入者と販売者の間の取り決めによって定められるものとします。本取扱説明書の指示を無視して損傷が起きた場合は、保証の対象とはなりません。

保証対象外となるのは：

- 日常的な使用で消耗する部品全般。パッキン、ミキサー、抽出装置などもこれに含まれます。
- 天候の影響、ホウイターの加圧堆積、化学的/物理的/電気化学的/電気的影響による不具合。
- 現場の水の硬度により浄水フィルタの使用が必要であるにもかかわらず、浄水フィルタを使用しないで不具合に至った場合。
- 本機の取り扱い、メンテナンス、カスタマーケアに関する規定（取扱説明書やメンテナンス指示など）に従わなかったことにより生じた不具合。
- WMF純正スパークアーツを使用しない場合や、マシンが購入者か第三者によって不適切に取り付けられている場合、あるいは不適切または十分な注意をとらなわれない取り扱いの結果として生じた不具合。
- 購入者、または第三者によるWMFの許可を伴わない不適当なマシン修理、改造、調整の結果生じた不具合。
- 取扱説明書に記述された用途以外の使い方をした結果生じた不具合。

重要

メンテナンス
▷79ページ

付録:テクニカルデータ

コーヒーマシンのテクニカルデータ

外寸	幅 390 mm 高さ 744 mm (コーヒ-豆ホッパ-およびロック含む) 奥行 590 mm (ドリップトレイ (小) のマージンを含むと 598 mm)
コーヒ-豆ホッパ-	大... 約 1,150 g、小... 約 730 g ⁽¹⁾
パ°ウタ-ホッパ- (オ°ション)	約 1,200 g ⁽²⁾
空重量	約 76 kg (3 グラインダ°、1 ミキサ-、1 ミルク)
水道	TW15 (DN 15、少なくとも DN 6 または 1/4 インチ) メインロッキングとフィルタ (メッシュ幅 0.2 ~ 0.25 mm) 付きのホース接続 (現場側で用意)。少なくとも 0.05 MPa (0.5 bar) の水圧、2 l/min. 最大 0.6 MPa (6 bar). 最大供給温度 35 °C。新品のコーヒーマシンおよび/または浄水フィルタに付属しているホースセットを使用すること。使い古したホースは再使用しないでください。
水質	5 °dKH (炭酸硬度) 以上の飲料水向けには、WMF 浄水フィルタをご使用ください。
排水パイプ	ホースは DN 19 以上、最低傾斜は 2 cm/m
NN を超える高さでの使用	< 2,000 m

予告なく仕様変更することがあります。

⁽¹⁾ カップ容量はコーヒ-豆のサイズによって変化します。

⁽²⁾ オ°ションのパ°ウタ-ホッパ-装着時のみ。カップ容量は使用するパ°ウタ-の種類によって変化します。

定格消費電力	4.0 kW
電圧	200 V - 50/60 Hz (2/PE)
ヒューズ (現場側で用意)	2 x 24 A
照明	LED等級
保護方式	IP X0
保護等級	A
連続騒音レベル (Lpa)	<70 dB(A) ⁽³⁾
周辺温度	+5 °C ~ +35 °C (寒いときは凍結防止のため水抜き)。
最高湿度	相対湿度80%、結露なし。 屋外での使用は禁止。
設置面/水しぶき	本機は必ず水平で安定した、防水性と耐熱性を備えた敷物の上に設置すること。 本機洗浄に放水は使用しないこと。マシンは水しぶきがかからない場所に設置してください。水ホース、スチーム噴射器、スチームクリーナー等で散布・クリーニングを行う場所には、本機を設置しないこと。

⁽³⁾ コーヒーマシン操作スタッフ周辺の作業環境におけるA特性音圧レベルLpa (A)とLpa (インパルス)は、作動モードにかかわらず常に70dB (A) 未満です。

取り付け時の間隔	機能上、およびサービス・安全上の理由から、マシンの側面は壁もしくは非WMF製コンポネントから50 mm以上離して設置してください。背面では50 mm以上の安全距離が必要です。 コーヒーマシンの前に800 mmの最小作業スペースを設けることを推奨します。ホッパーの上に200 mm以上の空間を設けることを推奨します。床面からマシン設置面までは最低850 mmの高さを確保すること。コーヒーマシンの各種接続をコーヒーマシン下からカウンターに通す場合、ライン敷設に必要なスペースに注意してください。敷設するラインによってコーヒーマシン下の利用可能な空間が制限される場合があります。
浄水フィルタの取り付け寸法	浄水フィルタの取扱説明書を参照してください。

上記の電気接続基準と引用されている規格は、EU各国にてコーヒーマシンの接続規格として適用されます。ご使用になる地域で定められた追加の規定がある場合には、これに従ってください。EU圏外では、コーヒーマシンを市場で販売する業者が、引用されている規格の遵守をチェックしてはなりません。

現場の電子装置の仕様は、現行のIEC364 (DIN VDE 0100) に沿っていません。本機のそばの、支障なくアクセスできる場所に、単相電源の場合 Schukoプラグソケットが使用国の基準の単相ソケットを、三相電源の場合は、DIN EN 50310 VDE 0800-2-310に準拠した5極CEE/CEKONソケットが使用国基準の多極ソケットを用意してください。プラグソケットはお客様側でご用意ください。主電源ケーブルが高温になった部品に接触しないようにお気をつけください。本機の主電源ケーブルが損傷した場合は、危険防止のためにWMF Fサービスエンジニアか同等の資格を有するスタッフが交換を行ってください。

会計システムと接続して使用する場合、機械間の等電位化電流によって生じる可能性のあるデータケーブルのシールド線の不具合を防ぐため、追加の等電位化処理を行うようにしてください。(DIN EN 50310 VDE 0800-2-310を参照)

マシンを大型のキャビネットに設置する場合には、接地・等電位ボンディング用導体をマシンに取り付けることを推奨します。アース端子(等電位ボンディング)の取り付けは、必要に応じてWMFサービスエンジニアが行います。

付録:アクセサリとスヘ°アハ°ーツ

数量	単位	名称	注文番号	装備
コヒ°供給口				
1	個	シングル供給口のシリコンキャップ°	33 4100 5000	全て
1	個	ダブル供給口のシリコンキャップ°	33 4100 6000	全て
1	メートル	ミルクホース	00 0048 4948	全て
ホッパ° - (コヒ°豆および粉)				
1	枚	ホッパ° - の表記ラベル	33 2624 7000	全て
1	個	ロック式フタ	33 2867 2099	全て
1	個	スヘ°アキー	33 2071 8100	全て
1	個	ミキサーカップ°、フル	33 2895 4000	パ°ウダ° -
1	個	ミキサーカップ° 供給口	33 2544 9000	パ°ウダ° -
1	個	コヒ°軽量スヘ°ーン	33 0742 4000	全て
1	個	マルチツール	33 2323 1000	全て
コヒ°缶受け				
1	個	コヒ°缶受け (テ°ザ°インシート付き)	33 2789 8099	全て
ド°リップ°トレイ°/ド°リップ°ゲ°リット°				
1	個	ド°リップ°トレイ°、大	33 2921 2099	全て
1	個	ド°リップ°ゲ°リット°、大型	33 2537 0000	全て
1	個	ド°リップ°トレイ°、小 (カップ°台)	33 2904 3099	全て
1	個	ド°リップ°ゲ°リット°、小 (カップ°台)	33 2537 1000	全て
1	個	スチ°ムジ°エット°スチ°マー°プレート	33 4095 2000	
1	個	スチ°ムジ°エット°使用°ド°リップ°ゲ°リット°	33 4095 1000	
1	個	セルフ°サー°ビス°用°ド°リップ°ゲ°リット° (大)	33 2537 0000	

数量	単位	名称	注文番号	装備
WMFカスタマーケアプログラム				
1	ボトル	WMF ミルクシステム洗浄剤 (液体)	33 0683 6000	全て
1	パック	WMF クリーニングタブレット (100個)	33 2332 4000	全て
1	パック	WMF クリーニングタブレット (ミルクシステム用、10 g)	33 2622 0000	
1	個	パイプクリーナー	33 0350 0000	全て
1	個	クリーニングブラシ	33 1521 9000	全て
1	チューブ	WMF「パッキン用グリース」Molykote 5 g	33 2179 9000	全て
1	個	クリーニングコンテナ、ダインミックミルク	33 2593 6000	ダインミックミルク
1	個	クリーニングコンテナ7タ、ダインミックミルク	33 2593 7000	ダインミックミルク
書類、取扱説明書				
1	個	資料一式: 9000 S+ 取扱説明書	33 2436 0060	全て

索引

- アサセリとスバ[®]ア[®] 92
- アニメーション 32
- パ[®]の表示 56
- インフォメーション 48
- エコモード 59, 60
- エコモードの概要 54
- エコモード 状態 54
- エラー通知と不具合 81
- エラー通知なしの不具合 82
- オートスチーム 15
- ウォッパ[®]タン 15
- ガイドライン 85
- かんが[®] 49
- かんが[®]のエキスポート 62
- カスタマー 31, 48, 63
- カスタマーについての安全上の注意事項 63
- カップウォーマー 30
- カップサイズ 43
- カップサイズ調整 28
- カップ容量 34, 43
- カップ容量選択 20
- カップ高さ 39
- 加熱除去 42, 48
- ケチリレベル 38
- ケチリ[®] 挽き粗さ設定 59
- クリーニング PIN 51
- クリーニングプログラム 66
- クリーニング(手作業) 69
- クリーニング頻度 65
- クリーンロック 32
- コヒー加熱受け 15, 24
- コヒー加熱受けのクリーニング[®] 69
- コヒー加熱落とし(オフショ)[®] 24
- コヒーケチリ[®]を選択 38
- コヒーの質品質 38
- コヒーマシンに対する危険 83
- コヒーマシンのスイッチを入れる 19
- コヒーマシンの各部名称 14
- コヒー粉の量 37
- コヒー豆ホッパ[®] - 15, 22
- コヒー豆ホッパ[®]のクリーニング[®] 75
- コヒー供給口を手作業でクリーニング[®] 71
- サービス 48
- サイズ 照明 15
- システム 55
- システムクリーニング[®] 31, 66, 67
- ジャーナル 48
- スイッチオナリス 59
- スイッチを切る 25
- スタート・ストップ[®] 35
- スタート・ストップ[®] プリフロー 35
- スチームイット 42
- スチームイットバッド[®] 28, 30
- スチームスル 15
- スチームスル[®]のクリーニング[®] 72
- スチームボタン 15
- セルフサービス 41
- セルフサービスモード[®] 41
- ソフトウェア 26
- タイマー 48, 52
- タイマーの入る時間を設定 52
- タイマーの状態 53
- タイマー予定表とタイマーの設定 52
- タッチパッドのキャリブレーション 57
- タンレット洗浄剤投入口 15
- データ[®]のバックアップ[®] 62
- データをロードする 62
- ディスプレイと照明 56
- ディスプレイの照度 56
- ディスプレイ照度減少 57
- デカ[®]係数 45
- テキストと画像 39
- デニカ[®] - タ 89
- ドリッパ[®]トレ[®]のクリーニング[®] 32, 70
- パウダ[®]-ホッパ[®] - 22
- パウダ[®]-ホッパ[®]-(オフショ)[®] 15
- パウダ[®]-ホッパ[®]のクリーニング[®] 76
- パ[®]の背景 57
- パ[®]ネリ上の通知 27
- パリスバッド[®] 41
- パリスバッド[®] - コヒーの濃さ 29
- ファームウェアの更新 62
- フィルタ容量 58
- ウォーマーのリス 68
- プリフロー 35
- プログラムディスプレイ 55
- ボストセクション 44
- ボタンの入れ替え 40
- ボタンのリセット 44
- ボタンのリセットの概要 53
- ボタンのリセットの状態(タイマー) 53
- ボタンのリスバッド[®] 28, 42
- マニュアル投入バッド[®] 15, 23, 29, 43
- ミキサーのクリーニング[®] 74
- ミキサーリス 31, 68
- ミルクシステムクリーニング[®] 31, 32, 67
- ミルクシステムを解除する 32
- ミルクシステム補充 29, 32, 44
- ミルクの量 37
- ミルクウォーマー内蔵型コヒー供給口 15
- ミルクフォームの選択 47
- ミルク/ミルクフォームの供給 21
- ミルクを接続する -
 - WMFカーラ[®]、WMFカップ[®]・アンド[®]・ケール(オフショ)[®] 21
- ミルク保管温度 55
- メーカーの口[®] 47
- メニューの機能 27
- メッセージと注意事項 80
- メニューバッド[®] 42
- メニュー制御バッド[®] 27
- メンテナンス 79
- メンテナンスと加熱除去 79
- ユーザーに対する危険性 6
- レベル[®]についての備考 39
- レベル[®]のバックアップ[®] 33
- レベル[®]の変更 36
- レベル[®]をロードする 33, 61
- レベル[®]を保存する 61, 62
- 口[®] 47
- 事前選択バッド[®](オフショ)[®] 20
- 会計 49
- 会計PIN 51
- 使用目的 12
- 供給オフショ[®] 35
- 供給バッド[®] 33
- 供給可能 26
- 供給可能機能タイプパッド[®] 26
- 供給可能表示 14, 15, 28
- 保証対象外となるのは: 88
- 保証請求 87
- 前回の抽出 48
- 収集のクリーニング[®] 71
- 取り付け時の間隔 91
- 取り外し可能な
 - ドリッパ[®]トレ[®](ドリッパ[®]グリッド[®]付き) 15
- 取扱説明書の記号 16
- 取扱説明書の記号とアイコン 16
- 外装のクリーニング[®] 70
- 外部会計 49
- 安全性 6
- 安全装置 6
- 定格消費電力 90
- 工場出荷時設定で用意されている追加
 - オフショ[®] 36
- 序章 14
- 抽出圧表示 59
- 抽出温度 37
- 操作 18
- 操作オフショ[®] 41
- 操作に関する安全上の注意事項 18
- 操作パッド[®] 15
- 操作パッド/クリーニング[®](クリーンロック)[®] 69
- 操作上の通知 80
- 操作要素 41
- 新しいPINを入力 51
- 日付 54
- 時刻 54
- 本日の詳細 52
- 栄養成分情報 42, 60
- 概要 26
- 機能タイプ 28
- 水質 89
- 水道 89
- 浄水フィルタ 48, 58
- 湯量 37
- 無料設定 50
- 照明 56
- 熱湯/スル 15
- 熱湯供給 21
- 熱湯温度バッド[®]を選択 46
- 特別ボタン(熱湯) 15
- 現在のレベル[®]構成 36
- 用語集 17
- 硬度 58
- 硬度の計測 58
- 管理責任者の義務 86
- 総硬度 58
- 総硬度の計測 58
- 自動カップ[®] 22
- 自動販売機 49
- 複数抽出 35
- 言語 60
- 言語レベルセクション 43
- 言語をロードする 62
- 設定PIN 51
- 設置・使用条件 13
- 設置面 90
- 説明 32
- 追加 36
- 追加オフショ[®]の変更 37
- 追加物の削除 37
- 飲料 33
- 飲料のマークをロードする 61

飲料プレート選択 46
飲料ボタン 28
飲料ボタンと設定用パネル 15
飲料供給 19
飲料取消 19, 46
飲料:大文字 57
高さ調整可能カップ台 15, 22

H

HACCP入力ポート 62
HACCPクリーニングコンテナー 77

P

PIN権限 50

S

S-M-Lカップ容量 34
S-M-Lボタン 20
S-M-L機能 34, 45

U

USB 61

W

WMF サービス 79

お

お客様の口 47



お近くのWMF サービス:

© 2016–2017 WMF Group GmbH

複製、配布、翻訳など全権利を保有します。書面による許諾なしに、当マニュアルの一部または全てを何らかの形で複製、電子システムを使用して処理、複写、配布することは固く禁じられています。

デザインと製作/テキストおよび構成:

TecDoc GmbH, Geislingen, info@tecdocgmbh.de

取扱説明書 (翻訳版) 日本国内で印刷。

予告なく仕様変更することがあります。

12.06.2017

9000S+